

令和3年度
事業報告書

社会福祉
法人 宮城県障がい者福祉協会

目 次

社会福祉事業

A 法人本部	・・・ 1
B 杏友園（障害者支援施設）	・・・ 10
C ふぼう（障害者支援施設）	・・・ 22
D 啓生園（障害者支援施設）	・・・ 36
E 第二啓生園（就労継続支援B型事業）	・・・ 47
F 宮城県障害者福祉センター（指定管理施設）	・・・ 56
G オアシス（特定相談支援事業）	・・・ 70

公益事業

H 地域公益事業	・・・ 74
I 宮城県障害者社会参加推進センター（受託事業）	・・・ 78
J 幸町ウェルフェア温水プール（補助事業）	・・・ 85
K 宮城県障害者総合体育センター（指定管理施設）	・・・ 91
L 肢体不自由児協会事業	・・・ 102

事業報告書の付属明細書	・・・ 108
-------------	---------

社会福祉事業

A 法人本部

令和2年1月に国内初の新型コロナウイルス感染症患者が発生してから、2年以上が経過しました。各施設および事業所では、マニュアルを整備し、徹底した感染防止策を講じることで、クラスターの発生を回避しています。会議や研修等は、感染状況を見ながらオンラインを活用し、滞りなく開催できました。

施設利用者の支援は、意思決定の支援に配慮しながら、丁寧で細やかなサービス提供に努めました。法人職員としての行動指針である「倫理綱領」は、作成から約20年が経過し、時代の流れに即したものに再編するため、倫理委員会を立ち上げました。

長年の課題であった、人事評価制度は、導入計画のもと準備期間を終え、本格運用に向けてスタートしました。また、健康経営優良法人として、「働きがいのある魅力的な職場づくり」「働きやすい環境づくり」に努めました。

6月、任期満了に伴う役員及び評議員の改選がおこなわれ、理事12名のうち2名、評議員15名のうち5名が新任となりました。

仙台市による一般監査（実地監査）では、重大な指摘事項はなく、引き続き適正な安定した法人経営に努めます。

1 理事会および評議員会に関すること

(1) 理事会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者数 (定数)	監事 出席	審 議 事 項
5月26日	10/10 (6~12名)	2/3	(1)決議事項 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算並びに監査報告について 第2号議案 第1次補正予算(案)について 第3号議案 令和3年度定時評議員会の招集について その他 (2)報告事項 報告1 人事の発令について 報告2 日身連会長表彰について 報告3 令和3年度市町村協会会員会費について
6月18日	12/12 (6~12名)	2/3	(1)決議事項 第1号議案 会長及び副会長並びに常務理事の選定について 第2号議案 評議員選任候補者(1名)の推薦について 第3号議案 役員賠償責任保険の契約について その他
9月22日	11/12 (6~12名)	2/3	(1)決議事項 第1号議案 第2次補正予算(案)について 第2号議案 賛助会員制度について その他

			(2) 報告事項 報告1 会長の専決事項について 報告2 会長及び常務理事の職務執行状況について 報告3 市町村協会の現況について 報告4 寄附贈呈式について
12月16日	11/12 (6~12名)	2/3	(1) 報告事項 報告1 令和3年度宮城県障がい者福祉協会会長表彰について 報告2 令和3年度社会福祉法人一般監査の結果について 報告3 上半期に係る事業報告および監事監査について 報告4 第二啓生園 新規業務の受注について (2) 決議事項 第1号議案 第3次補正予算(案)について その他
3月17日	9/12 (6~12名)	1/3	(1) 決議事項 第1号議案 第4次補正予算(案)について 第2号議案 令和4年度事業計画(案)について 第3号議案 令和4年度資金収支予算(案)について 第4号議案 経理規程の改正について 第5号議案 就業規則およびパート職員就業規則の改正について 第6号議案 正職員給与規程、契約職員給与規程、パート職員賃金規程の改正について 第7号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について 第8号議案 役員賠償責任保険の契約について 第9号議案 苦情解決制度 第三者委員の選任について その他 (2) 報告事項 報告1 会長の専決事項について 報告2 会長および常務理事の職務執行状況について 報告3 令和4年度年間行事計画について

(2) 評議員会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者数 /定数	監事 出席	審 議 事 項
6月18日	11/14 (7~20名)	1/3	(1) 報告事項 報告1 令和2年度事業報告について 報告2 日身連会長表彰について 報告3 令和3年度市町村協会会員会費について (2) 決議事項 第1号議案 令和2年度決算及び監査報告について 第2号議案 任期満了に伴う役員改選について

(3) 常任理事会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者	審 議 事 項
5月12日	会長 副会長 (大浪、末田) 理事兼施設長 事務局長 事務局課長	(1) 決議事項 議案1 令和3年度市町村協会会員会費について 議案2 次期評議員選任候補者について 議案3 令和3年度第1回理事会について その他

9月2日	会長 副会長 (大浪、伊藤) 常務理事(末田) 理事兼施設長2名 事務局長 事務局課長	(1)決議事項 議案1 賛助会員制度について 議案2 令和3年度第3回理事会について その他 (2)報告事項 報告1 令和3年度法人一般監査(実地監査)について (3)その他 ・令和3年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議の開催について
12月2日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局課長	(1)報告事項 報告1 令和3年度法人一般監査(実地監査)について 報告2 第二啓生園 新規業務の受注について (2)決議事項 議案1 令和3年度第4回理事会について その他
2月28日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局課長	(1)決議事項 議案1 令和3年度第5回理事会について その他 (2)報告事項 なし (3)その他 ・賛助会員について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催月日	出席者	審議事項
6月18日	会長 常務理事(末田) 事務局長 評議員選任・解任委員会 委員5名	任期満了に伴う評議員の選任

2 監査等に関すること

(1) 監事監査の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席監事	出席役員および職員	監査の内容
5月20日	3/3	会長 副会長(末田) 事務局長 事務局課長 各拠点会計責任者 および出納職員	令和2年度決算にかかる監査 ・事業報告(概要) ・法人全体決算報告 ・拠点区分ごとの事業報告および総務・経理関係等の監査 ・監査講評 ・監査報告書の作成
11月18日	3/3	会長 常務理事 事務局長 事務局課長 各拠点会計責任者 および出納職員	令和3年度中間監事監査 ・法人会計の説明 ・各事業、拠点区分ごとの上半期監査 ・監査講評 ・監査報告書の作成

(2) 大藤会計事務所の巡回監査

場所：宮城県障害者福祉センター

監査者	対 象	開 催 年 月 日
大藤会計事務所	法人全拠点区分	令和3年 4月19日, 5月27日, 6月24日 7月26日, 8月26日, 9月24日 10月21日, 11月25日, 12月23日 令和4年 1月25日, 2月24日, 3月24日

(3) 仙台市による監査

開催月日	出 席 者	内 容
7月12日	仙台市 法人本部事務局 常務理事 事務局長 事務局課長	令和3年度一般監査(実地監査) 対象：法人本部 内容：運営管理および経理

3 行政庁等への届出に関すること

月日	事 項 / 提出先	内 容
	時間外・休日労働に関する協 定届	労働基準法第36条に基づく協定書提出 ふぼう : 3月16日 仙台地区: 5月28日 杏友園 : 6月29日
6月23日	現況報告書 (仙台市健康福祉局)	社会福祉法第59条に基づく提出
6月24日	社会福祉法人変更登記 (仙台法務局)	令和3年3月31日資産の総額の変更
7月1日	社会福祉法人変更登記 (仙台法務局)	理事長の変更(就任日: 令和3年6月18日)
3月22日	就業規則変更届 (仙台労働基準監督署)	「就業規則」 ・第20条(職務に専念する義務の免除) 「再検査等を含む」を追記 ・第60条(健康診断) 再検査の場合、職専免を適用できることを追記 ・第29条(休日) 法定休日は、土曜日を起算とする1週間に1日を確保するものとする ・第31条(休日の振替) 休日の振替は同月内で行うものとする ・第52条(解雇予告) 適用する条文の訂正に伴う一部削除 ・第71条(懲戒の事由) 「社内」「会社」という表記を「法人内」「法人」に訂正 ・別表「役職及び職種表」 幸町ウェルフェア温水プールの職種に「指導員」を追加 「パート職員就業規則」 ・第30条(慶弔見舞金)を追加 ・パート職員の「慶弔及び見舞金等に関する内規」の「病気 休暇」を「休職」に訂正

		<p>「正職員給与規程」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8条(扶養手当) 「支給内容に変更があった場合は、月末基準とする」を追記 ・第10条(住居手当) 「支給内容に変更があった場合は、月末基準とする」を追記 ・第11条(時間外勤務手当) 時間計算の端数処理について明記 ・第12条(休日勤務手当) 「休日」は「法定休日」であること、時間計算の端数処理について明記 ・別表7「職員諸手当支給表」 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による手当を明記 <p>「契約職員給与規程」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7条(時間外勤務手当) 時間計算の端数処理について明記 ・第8条(休日勤務手当) 「休日」は「法定休日」であること、時間計算の端数処理について明記 <p>「パート職員賃金規程」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6条(時間外勤務手当) 時間計算の端数処理について明記 ・第7条(法定の休日勤務手当) 「休日」は「法定休日」であること、時間計算の端数処理について明記 <p>「育児休業等に関する規則」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2条(育児休業の対象者) 法改正に伴い、対象者の要件から「採用1年以上であること」を削除 ・第8条(育児のための時間外労働の制限)第3項 適用する条文の訂正 <p>「介護休業等に関する規則」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2条(介護休業の対象者) 法改正に伴い、対象者の要件から「採用1年以上であること」を削除
--	--	--

4 契約に関すること

(1) 競争入札関係

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	会議名	出席者	内容
10月18日	指名委員会の開催	委員：常務理事 事務局長 施設長5名 ふぼう課長 事務局課長	指名競争入札参加業者の指名 障害者支援施設「ふぼう」 給食業務委託にあたり指名業者の決定

11月18日	指名委員会の開催	委員：常務理事 事務局長 施設長5名 事務局課長 監事：齋藤光弘	指名競争入札参加業者の指名 障害者支援施設「杏友園」「ふぼう」 「啓生園」 障害福祉サービス事業所「第二啓生園」 「宮城県障害者福祉センター」 「宮城県障害者総合体育センター」 「幸町ウェルフェア温水プール」 清掃業務委託にあたり指名業者の決定
--------	----------	--	---

5 職員および施設運営に関すること

(1) 施設長会議の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
原則として 毎月第2木曜日 午後開催	会長 常務理事 事務局長 各事業所施設長 事務局課長	内容：各施設の状況と行事予定の報告 諸課題の検討 新型コロナウイルス感染症対策 人事評価制度について 他

(2) 労務管理打合せ会の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
原則として 毎月第2木曜日 午前開催	顧問社会保険労務士 常務理事 事務局長 各事業所施設長 事務局課長	内容：労務管理の問題調整 ・新型コロナウイルス感染症対応について ・タイムカードの導入について ・労務管理分野の法改正への対応について ・就業規則の確認と見直し 他

(3) 総務担当職員の打合せ会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
毎月 (大藤会計事務所 の巡回指導日 に開催)	本部事務局 各施設の総務担当者	内容：総務および会計に関する伝達と確認 ・福祉・介護職員処遇改善加算、特定加算、調整手当について ・令和2年度決算概要について ・消費税について ・中間決算について ・一般事業主行動計画策定届について ・決算スケジュールについて

(4) 職員研修の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者	内容
4月2日	新任職員研修 講師：会長 副会長(末田) 事務局長	目的：法人の理解を深める 内容：(1)協会組織並びに協会の基本理念 (2)協会の各種事業 (3)福祉従事者としての職業倫理の基本 (4)社会福祉の動向と現状 (5)協会の就業規則とその他の諸規程 (6)協会職員の行動規範 参加：新採用および年度途中の採用職員 計7名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン併用
7月26日	事務担当者研修会 講師：顧問社会保険労務士	内容：勤怠管理のルールについて 参加：計23名

(5) 職員対象の諸事業

開催月日	会議名	内 容
4月1日	進発式・辞令交付式	目的：新年度初日付の辞令を交付するとともに、法人役員 の訓示を受けることで、新たな気持ちで新年度を始め る 内容：辞令交付（昇任1名、新採用6名、異動4名） 訓示 職員の決意表明 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン 併用
6月30日	職員表彰	目的：職員表彰規程に基づき、誠実に勤務した職員の功績 を称える 内容：永年勤続表彰 （勤続30年1名、20年8名、10年26名 計35名に授与） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、法人本部が 各施設を訪問し、表彰式をおこなった
7月29日	職員表彰	目的：職員表彰規程に基づき、誠実に勤務した職員の功績 を称える 内容：1名に授与 ※体育センターにて壮行会をおこなった

6 会長の専決事項に関すること

年月日	事 項	内 容
4月16日	屋外地下排水管修繕契約に ついて	「啓生園拠点区分」「第二啓生園拠点区分」 第二啓生園作業場トイレの排水詰まりが生じ、調査したところ、 啓生園と第二啓生園共有の中庭地下排水管のズレが原因だった ため、修繕をおこなうことを承認した。 契約業者：中城建設株式会社 計2,365,000円 啓 生 園 1,537,250円(65%) 第二啓生園 827,750円(35%)
5月6日	電気設備更新工事契約につ いて	「啓生園拠点区分」「第二啓生園拠点区分」 受変電設備の劣化が進み、高圧電力事故に至る危険性があるこ とから、更新工事をおこなうことを承認した。 契約業者：三共電気株式会社 計2,365,000円 宮城障害者職業センター1,293,600円(28%) 啓生園・第二啓生園 3,326,400円(72%)
5月31日	「予備費」の使用	「推進センター拠点区分」 スチールロッカー8台購入により当初予算を上回ったため、事 務消費費へ予備費から24,000円計上した。
8月3日	令和3年度 協会長表彰被表彰者の決定	会長表彰等要綱では「県協会三役会で構成する被表彰者選考委 員会を設け、被表彰者を決定するものとする。」となっているが、 本年度においては表彰時期が例年と異なり、当該委員会の開催 が困難なため専決で決定した。

8月11日	ガスヒートポンプエアコンの保守契約について	「杏友園拠点区分」 ガスヒートポンプエアコンに遠隔監視付きプランを取り入れることにより、機器の状態を24時間監視することができ、不具合が起きた場合に迅速な対応が可能となるため、監視システム設置工事をおこなうことを承認した。 契約業者：株式会社安藤ハザマ 保守契約 計 1,498,200 円 設置工事 計 660,000 円
10月15日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務受託に伴う助成金申請書提出について	「第二啓生園拠点区分」 日本財団および宮城県より、「働く障害者支援」の一環として、国立国会図書館蔵書デジタル化業務の受託依頼があり、検討を重ねた結果、受託を決定した。
11月9日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務に伴う作業場工事の契約について	「第二啓生園拠点区分」 書籍保管用の耐火保管庫設置に伴う、床面および2階作業場間仕切り改修工事をおこなうことを承認した。 契約業者：大東住宅株式会社 計 1,540,000 円 (工期：令和3年12月1日～令和3年12月31日)
11月22日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務に伴う電気設備工事の契約について	「第二啓生園拠点区分」 電気設備の増設・移設工事、エアコン、無停電装置等、デジタル化業務に必要な各種電気設備工事をおこなうことを承認した。 契約業者：三共電気株式会社 計 10,989,000 円 日本財団助成分 7,975,000 円 施設自己負担分 3,014,000 円
12月6日	給食業務委託業者選定について	「ふぼう拠点区分」 現行の委託業者との契約が今年度で終了するため、次年度からの業務委託に関する入札(総合評価落札方式)をおこなった。 契約業者：日清医療食品株式会社
12月10日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務における耐火保管庫内空調設備設置工事の契約について	「第二啓生園拠点区分」 保管書籍の劣化保護のため、耐火保管庫内の24時間空調設備を設置することを承認した。 契約業者：中城建設株式会社 計 1,050,500 円
1月6日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務受託に伴う助成金申請に対する審査結果について	「第二啓生園拠点区分」 日本財団より審査結果が届いたため受理を認めた。 助成金額：計 96,380,000 円
1月7日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務における精密空調機の購入について	「第二啓生園拠点区分」 24時間温湿度管理のため、精密空調機を購入することを承認した。 契約業者：株式会社アピステ 計 3,128,180 円
1月7日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務におけるスキャン機材一式の購入について	「第二啓生園拠点区分」 スキャン機材一式(スキャナー、組立式暗室等)を購入することを承認した。 契約業者：株式会社ムサン 計 38,803,600 円

1月12日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務における監視カメラ設置契約について	「第二啓生園拠点区分」 セキュリティ強化のため、監視カメラを設置することを承認した。 契約業者：セコム株式会社 計 1,276,220 円
1月25日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務におけるUTMライセンス契約について	「第二啓生園拠点区分」 ウイルスの侵入・拡散や不正アクセス、ネットワーク攻撃等を排除できる機能を持つUTMライセンスを契約することを承認した。 契約業者：スターティア株式会社 計 3,565,100 円
1月26日	高精度液面計取付け工事について	「福祉センター拠点区分」 消防署による指摘事項に対するの改善措置として、地下貯蔵タンク監視装置を設置することを承認した。 契約業者：東日本油化工業株式会社 計 1,100,000 円
1月28日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務における耐火保管庫設備について	「第二啓生園拠点区分」 書籍保管のための耐火保管庫を購入することを承認した。 契約業者：株式会社クマヒラ 計 16,610,000 円
2月17日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務に係る助成事業の変更について	「第二啓生園拠点区分」 耐火保管庫およびパソコン一式の設置が年度内に完了できない状況であるため、事業期間の延長申請をおこなった。 事業期間：変更前 2021/12/6～2022/3/31 変更後 2021/12/6～2022/8/31 助成金額：計 96,380,000 円
2月22日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務におけるPC機器一式の購入について	「第二啓生園拠点区分」 工程管理システム運用、画像検査、メタデータ作成工程等に必要なPC機器一式を購入することを承認した。 契約業者：ステラグループ株式会社 計 5,750,250 円
2月22日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務における大容量ストレージサーバー一式の購入について	「第二啓生園拠点区分」 データ保管場所として、大容量ストレージサーバーの設備が必要となるため、一式の購入を承認した。 契約業者：ステラグループ株式会社 計 6,206,310 円
2月24日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務におけるネットワーク構築工事の契約について	「第二啓生園拠点区分」 新規ネットワーク構築のための工事をすることを承認した。 契約業者：カンタム情報システム株式会社 計 1,957,912 円
通年随時	正職員採用の承認	各施設における正職員11名の採用を承認した。
通年随時	退職希望の承認	自己都合による退職希望者8名を承認した。

B 杏友園（障害者支援施設）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、利用者の健康と生活の質を守る支援を継続してきました。感染症予防対策とまん延防止策を講じながら、生活の充実を図るため、行事や日中活動を再開しました。また、コロナ禍の中でも個別支援計画を実行するために、サービス管理責任者と生活支援員等が連携し、利用者の要望に沿った支援に努めました。感染症対策を徹底しながらの近隣の二市三町への短時間の外出、個別食事会や調理実習等を他職種とも連携して、利用者ニーズの実現に取り組みました。

面会や外泊等については、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、制限せざるを得ない状況が続きました。面会ニーズの高いご家族とオンライン面会等を早期実現できるように、インターネット環境を整えることが次年度の課題として残りました。

障がいの重度化、高齢化により身体状況の低下がみられているため、健康管理体制に重点を置きました。職員間の連携をより強化して、疾病予防の取組みと異常の早期発見に努めたことで、医療機関への緊急入院・通院数は減少しました。

宮城県ロボット等支援事業を活用した、赤外線コール及びマルチコールを導入し、より個人の身体状況に合わせた生活ができるように努めました。

職員の資質の向上については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを活用した研修を実施しました。これまで書面等での研修報告だったものが、全職員が感染症対策や虐待防止対策について学ぶことができ、職員の意識改革に繋げることができました。

宮城東部地域自立支援協議会や近隣市町村の障害福祉サービス事業所と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症対策についての情報共有を図りました。

1 生活介護事業・施設入所支援（生活班）

個別支援については、これまで同様、サービス管理責任者が定期的にモニタリングをおこない、利用者の希望に沿った個別支援計画を実施しました。外出ニーズについては、感染状況を鑑みて実施し、外出制限となった時期については、施設内において、個別の食事会や調理活動など各ケース担当が工夫した企画を実施しました。また、新緑会や芋煮会といった施設行事、クラブ活動の代わりとして、月に1度の日中活動を実施することで施設内での生活が充実できるように努めました。

日常生活のさまざまな制限へのストレスが軽減されるよう、管理栄養士が季節に合わせて工夫を凝らした献立を企画したり、デザートバイキング等のお楽しみ献立を提供したりと、利用者が楽しめる美味しい食事を提供しました。

健康面では、医療機関との連携を図りながら、新型コロナウイルスやインフルエンザ等のワクチン接種への対応も円滑に進めることができました。

(1) 外出・外泊状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外出	0	0	1	0	1	0	6	14	14	7	4	5	52(人)
外泊	0	0	4	0	0	0	2	11	16	12	0	0	45(日)

(2) 日中活動

実施月	内 容	参加人数
9 月	風船バレー	14
10 月	風船バレー	12
11 月	ボッチャ	16
12 月	クリスマスツリー飾り	17
1 月	書初め	9

(3) 行事食の実施

実 施 日	行 事 食 名	内 容
5 月 27 日	春の膳	あさり御飯, すまし汁, たらのポテト焼き, たけのこの土佐煮, 菜の花のお浸し, 水まんじゅう
6 月 6 日	新緑会	桜海老と枝豆御飯, 天ぷら盛り合わせ, 露の炊き合わせ, 高野豆腐の卵巻き, 菜の花の湯葉和え, きゅうり漬け, 抹茶ケーキ
7 月 28 日	夏の膳	丑の日おこわ, すまし汁, 空也蒸しと夏野菜浸し, うぐいす豆かん, マンゴーシャーベット
8 月 18 日		※杏友園自治会よりソフトクリーム提供
9 月 14 日	秋の膳	鮭の味噌バターごはん, すまし汁, 秋刀魚の塩焼き, 錦糸卵とほうれん草の和え物, ヨーグルトパバロア
10 月 10 日	芋煮会	おにぎり(梅おにぎり, おかかとチーズの混ぜ込みおにぎり) 宮城風芋煮, 選べるおかず 3 種(鶏の唐揚げ, 鮭の塩焼き, 厚焼き玉子とソーセージ), 菜の花のお浸し, 台湾カステラ
11 月 24 日	お寿司の日	握り寿司(まぐろサーモン, 海老, 玉子, かつおたたき), いなり寿司, 手まり麩のすまし汁, 茶碗蒸し, 鶏肉の炊き合わせ, 柿
12 月 23 日	クリスマス ランチ	セレクトメニュー 鶏肉のトマトクリーム煮/白身魚のトマトクリーム煮 ロールパン, コンソメスープ, さっぱりマヨサラダ ※デザートに杏友園自治会よりケーキ提供
1 月 1 日	おせち料理	赤飯, お雑煮, おせち(たらの照り焼き, 刺身盛り合わせ, 伊達巻, 昆布巻き, 炊き合わせ, 黒豆, 栗きんとん)
2 月 15 日	鍋の日	ご飯, おでん, すき焼き, たくあん漬け, いちごゼリー
3 月 18 日	デザート バイキング	クッパ麺, いか天ぷら, 小松菜のわさび和え, ブラウニー, プリン, かぼちゃの白玉団子, ソーダゼリー, スイートポテト, 黒糖まんじゅう, チーズケーキ

(4) 利用者の検診等

実施日	検査内容	対象者数	受診者数
4月30日	基本健診	50	50
4月～5月	風疹抗体検査 希望者	6	6
5月11日～14日	検尿(蛋白・糖・潜血)	50	50
5月13日 ～R4年2月17日	新型コロナウイルスワクチン接種(希望者) 第1,2,3回目	50	50
5月20日	胸部X線検査	50	50
6月22日～23日	歯科検診	50	49
8月11日～9月8日	子宮癌検診希望者	9	9
9月9日	乳癌検診希望者	3	3
10月5日～8日	検尿(蛋白・糖・潜血)	50	50
10月28日	インフルエンザ予防接種(希望者)	50	49
11月8日～15日	大腸癌検査(40歳以上)	48	48

(5) 利用者の通院状況 代理受診含 (延べ人数) ※()内は前年度数

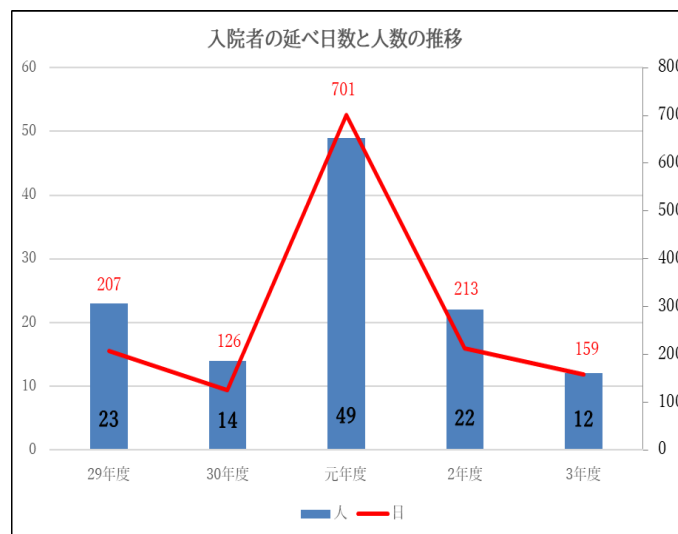
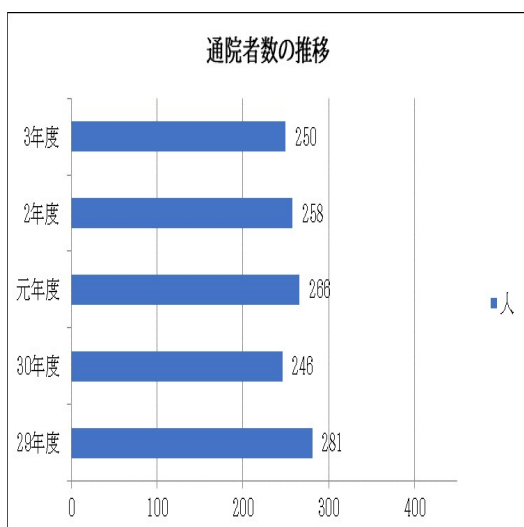
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	23	20	22	20	20	24	22	22	22	20	13	22	250(258)

※通院とは別に、月1回内科、1ヶ月に1回精神科の嘱託医の診察を実施しています。

(6) 利用者の入院状況(入院日数:延べ日数) ※()内は前年度数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1	0	1	2	1	1	0	0	1	2	2	1	12人(22)
日数	16	0	16	11	16	2	0	0	8	26	33	31	159日(213)

※今年度の入院人数は減少傾向ですが、1回の入院日数が長期間となっています。(重複して入院している利用者も含む)



今年度も新型コロナウイルス感染症の影響もあり、職員のみでの受診対応を実施することがありました。

障がいの重度化、高齢化により健康状態の変化が表れておりますが、職員間の連携をより強化し、疾病予防の取組みと異常の早期発見に努めたことで、医療機関への通院数は減少しました。入院者の人数は減少傾向にあり、病状の重度化による急変や、病状自体の急変により長期入院される利用者も数人見られたものの、元年度に比べて、人数及び日数が大幅に減少しました。

(7) 補装具支援

ア 補装具費支給（車椅子・装具の購入及び修理）

・車椅子購入……………	3件	・装具購入……………	0件
・車椅子修理件数………	31件	・装具修理件数………	3件

イ 車椅子の使用状況

・自力駆動……………	男性	10名	女性	8名
・介助移動……………	男性	1名	女性	3名
・電動車椅子……………	男性	12名	女性	12名
・アシスト式電動車椅子…	男性	1名	女性	0名
・車椅子未使用……………	男性	1名	女性	0名

業者に定期的に来園してもらい、車椅子及び補装具の修理やメンテナンス、定期点検をおこない、利用者の生活に不便がないように対応しました。

(8) 介護設備の更新・保守

月 日	備品種類	内 容
4月20日	トイレ3天井走行リフト一式	老朽化により計画更新 (ジェー・シー・アイ)
7月15日	浴室天井走行リフト(3台)	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
8月25日	座位特殊浴槽	定期点検実施(オージー技研)
9月21日	407トイレ天井走行リフト一式	老朽化により計画更新
9月21日	業務用洗濯機, 汚物除去機, 業務用乾燥機	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
12月7日	臥位特殊浴槽	定期点検実施(オージー技研)
1月13日	浴室天井走行リフト(3台)	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
3月17日	業務用洗濯機, 汚物除去機, 業務用乾燥機	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)

(9) サービス向上への取組み

ア 苦情解決制度の取組み

利用者の方々からの苦情等について、適切に対応するように苦情解決担当者を設け対応しました。

[苦情受付件数] : 0件 [要望受付件数] : 0件

イ 障害者虐待防止委員会

障害者虐待防止法の施行に伴い、障害者への虐待等についての相談担当者を設けて、利用者及び家族等からの相談を受け付けています。

定期的な委員会の開催と職員に向けた研修やアンケートを実施して、サービスの向上を図りました。また、利用者に対してもアンケートを実施し、職員の意識改革に繋げています。身体拘束について、定期的に検討、検証をおこないました。

[受付件数]：0件

2 家族との関係

今年度も、ご家族参加の施設行事は休止せざるを得ない状況となり、ご家族との交流の機会はありませんでした。

面会、外出、外泊等は休止期間や時間制限を設け、ご家族にはその都度連絡を入れながら対応しました。

(1) 面会人数

※（ ）内は前年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性利用者	0	0	25	16	20	10	26	19	26	13	0	0	155人(292)
女性利用者	0	0	6	17	13	5	8	14	13	5	0	0	81人(159)

3 在宅障害福祉サービス

(1) 短期入所事業

昨年同様、緊急対応を除き、基本は2泊3日という制限を設けて実施しました。

また、年度末に数名の新規利用の希望を受け、感染対策を徹底した上で実態調査をおこない、次年度から利用していただけるように調整しました。

コロナ禍ではありますが短期入所事業の需要は高く、通常の受け入れを求める声も多いため、受け入れ態勢の拡充を検討していきます。

ア 利用状況（福祉型短期入所区分Ⅰ、Ⅱ該当）

※（ ）内は前年度実績

月	区分6		区分5		区分4		区分3		区分2		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6
6月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
7月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
8月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
9月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
10月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
11月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
12月	4	11	1	3	0	0	0	0	0	0	5	14
1月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
2月	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10

3月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
計	42	115	1	3	0	0	0	0	0	0	0	43 (29)	118 (92)

(2) 生活介護事業（地域班）

宮城東部地区二市三町における地域支援の一翼を担う事業所として、関係市町村や相談支援事業所と連携し、安定的なサービスの提供に努めました。

他事業所と併せてご利用されている方も多く、事業所間での情報共有、連携等、在宅生活利用者の細やかな支援がますます大切になっています。

今年度は、事業を継続していけるように、感染予防対策を徹底しながら安心安全に利用していただけるよう支援に努めました。また、新規利用者2名が利用開始となっており、個別ニーズを伺いながら支援を進めてきました。

新型コロナウイルス感染症対策として、食事、カードゲーム等実施時に飛沫防止として遮蔽版を設置、浴室、送迎車両の消毒等を徹底しながら、個々のADL状況を考慮したサービスの提供をおこないました。経管栄養や痰吸引等の医療的行為が必要な利用者も多く、健康班との連携を図りながら対応してきました。

また、サービス管理責任者を中心にご家族、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所と情報を共有して、連携を図りながら対応するように努めました。

余暇活動においては、密にならない環境調整や遮蔽版の設置、消毒、換気等をおこない、希望に沿った活動実施に努めてきましたが、ケアプラン等での希望外出に関しては、県内の感染者数の変動が大きく、実施は見送りました。

ア 利用状況（地域班）

※（ ）内は前年度実績

月	区分6		区分5		区分4		区分3		区分2		区分1		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	11	68	1	0	1	4	1	2	0	0	0	0	14	74
5月	11	83	1	7	2	4	1	4	0	0	0	0	15	98
6月	11	124	1	8	2	8	1	2	0	0	0	0	15	142
7月	11	108	1	7	2	3	1	4	0	0	0	0	15	122
8月	11	118	1	6	2	6	1	3	0	0	0	0	15	133
9月	11	120	1	6	3	11	0	0	0	0	0	0	15	137
10月	11	130	1	8	3	9	0	0	0	0	0	0	15	147
11月	11	123	1	8	3	14	0	0	0	0	0	0	15	145
12月	11	120	1	8	3	16	0	0	0	0	0	0	15	144
1月	11	109	1	7	3	12	0	0	0	0	0	0	15	128
2月	11	88	1	7	3	13	0	0	0	0	0	0	15	108
3月	11	128	1	9	3	13	0	0	0	0	0	0	15	150
計	132	1319	12	81	30	113	5	15	0	0	0	0	179 (163)	1528 (1425)

イ 市町村別登録者数

塩釜市		多賀城市		七ヶ浜町		利府町		松島町		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	3	3	3	2	2	0	1	1	0	6	9

4 地域との連携・地域公益活動

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策として、多目的ホール及び会議室等の貸し出しについては実施しませんでした。

例年参加していた近隣地域の行事については、今年度も軒並み中止もしくは縮小となり参加できませんでした。開催のあった行事についても、人の集まる場への外出は感染リスクが高いため参加を自粛しました。

5 職員の資質向上

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策によりオンライン研修が多く開催されるようになりました。杏友園内においての参加が可能となったことで、職員へ参加を促すこともでき、これまで全員で研修参加が難しかった「虐待防止研修」「感染症対策研修」等においては、動画配信期間中に全職員が視聴参加したことで意識改革に繋がりました。

今後も、コロナ禍が続くことが予想されるため、外部講師などにおいても、オンラインを活用した研修を取り入れていくように検討しています。

今年度は、職員の研修参加機会を多く持つことができ、スキルアップを図ることができました。今後は、復命報告などにおいて、研修参加職員が他職員へ直接報告、指導する機会を検討していきます。

(1) 施設内研修

月 日	内 容	会 場	対象職員
4月1～21日	異動・新規採用職員研修	杏友園内	2
4月中	虐待防止研修	会議室	全職員
5月25日	食事・嚥下摂食技術研修	多目的ホール	全職員
11月17日	感染症対策研修	杏友園内	3
11月～12月	虐待防止研修	オンライン	全職員
1月～2月	感染症対策研修	オンライン	全職員

(2) 外部研修

月 日	内 容	会 場	参加者数
4月29日～8月	喀痰吸引等第三号研修	東北大学クリニカル スキルラボ	2
5月25日	OJT指導者養成研修	オンライン	1
6月6日	福祉スキルアップ研修・初任者研修「障害編」	オンライン	1
6月11日	リーダーの為のコーチング研修	オンライン	1

6月11日 ～7月16日	介護福祉士養成施設実習指導者研修	市民サポートセンター	1
6月29日	クレーム対応研修	オンライン	1
7月21日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県管工事会館	1
8月26日	アンガーマネジメント研修	オンライン	1
9月6日	特定給食施設等研修	オンライン	1
9月15日	保健担当職員研修	オンライン	1
10月5日	「高次脳機能障害の理解と関わり方」研修	市民サポートセンター	1
10月16日 ～11月27日	介護福祉士養成施設実習指導者研修	聖和学園短期大学	1
10月26日	「レクリエーションの位置づけと展開」研修	市民サポートセンター	1
10月26日	クレーム対応研修・実践編	オンライン	1
11月10日	リスクマネジメント研修監督編	オンライン	1
11月11日	「記録の要点とチームケア」研修	市民サポートセンター	1
11月12日	「介護と看護の連携・協働」研修	市民サポートセンター	1
11月17日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県管工事会館	1
11月19日	「事例から学ぶ認知症ケアの実際」研修	市民サポートセンター	1
11月26日	介護現場における医学的基礎知識研修	市民サポートセンター	1
12月4日	指導者のための介護技術研修	仙台医療秘書福祉 専門学校	1
12月15日 ～12月22日	全国障害者施設協議会東北ブロック研修 (介護職・サービス管理責任者・栄養士)	オンライン	3
12月16～21日	宮城県サービス管理責任者等実践研修	オンライン	2
12月17日	障害福祉分野におけるICT活用による業務 改善研修	宮城県合同庁舎	1
1月14日	喀痰吸引第二号研修	杏友園内	3
1月19日	リーダーの為の指導術研修	市民サポートセンター	1
1月20日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県管工事会館	1

(3) 外部講師派遣

月 日	内 容	会 場	参加人数
6月3日 7月5日	学部内実習講師	仙台医療福祉専門学校	1
8月3日	就職セミナー講師	仙台医療福祉専門学校	1
7月9日	さわおとの森利用者家族勉強会講師	オンライン	1

6 実習生の受け入れ

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で介護実習の受け入れをおこなえませんでした。今年度下半期より、学校側と感染対策を協議しながら受け入れを再開しま

した。また、実習の受け入れができなかった学校については、職員を講師として派遣したり、オンラインを活用した実習等の対応をおこないました。

(1) 施設実習受け入れ実績

期 間	学 校 名	受け入れ人数
9月 30日～10月 28日	仙台医療福祉専門学校	2
10月 22日～11月 10日	仙台医療秘書福祉専門学校	2
11月 2日～11月 29日	東北文化学園大学	1
12月 2日～12月 16日	仙台医療福祉専門学校	4

(2) 実習指導者派遣

月 日	派 遣 先	派遣指導者
6月 3日	仙台医療福祉専門学校	松原副主任
7月 5日	仙台医療福祉専門学校	松原副主任

(3) オンライン実習

期 間	学 校 名	人 数
3月 1日～3月 15日	東北福祉大学	6

7 安全管理と防災対策

安全防災委員会を中心として、総合防災訓練、消防通報訓練、防火管理自主点検などを実施して、利用者が安全安心に生活できるように努めました。

安全管理に関しては防災対策として、日中火災想定総合防災訓練を9月に実施し、火災時における避難誘導、通報、消火の訓練をおこないました。新型コロナウイルス感染症予防のため、密になりえる利用者を一か所に集めることを避け、塩釜消防署の指導のもとで3月に部分訓練(通報訓練・消火設備の周知)及び地震時のガス機器、ボイラーの復旧作業の周知のみを実施しました。

消防署による立ち入り検査を6月に受け、指摘事項はありませんでした。また、施設内の消防設備点検を4月と10月に実施、非常用発電機器不可試験を5月に実施して指摘のあった事項については改善計画を立てました。

(1) 消防点検等及び訓練内容

実 施 日	内 容	入 所 利用者	短 期 利用者	通 所 利用者	職員他
4月 27日	消防用設備等点検				
5月 23日	非常用発電機負荷試験				
6月 28日	消防立ち入り検査				
9月 28日	総合防災訓練 (日中火災想定)	50	0	0	13

10月 27日	消防用設備等点検				
3月 25日	通報訓練・施設内消火機器周知 (日中帯火災想定)	0	0	0	3

8 施設の保全

大規模な修繕はありませんでしたが、屋上屋根のシーリングの修繕工事を実施しました。また、令和4年3月16日に発生した福島沖を震源とする地震により、施設には幸い大きな被害はありませんでしたが、ひび割れや陥没箇所については、次年度以降に修繕を進めていきます。

9 資料 (令和4年3月31日現在)

(1) 利用状況

所 属	入所支援 (定員50)		生活介護 (入所定員50)		生活介護 (通所定員10)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3月31日 在園人数	25	23	25	23	6	9
	48		48		15	
延利用人数	17,975/18,139		12,823/13,850		1,528/2,847	
利 用 率	99.0%		92.5%		53.6%	

(2) 施設入所利用者

ア 年齢別

※()内は前年度実績

性別	20～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	計
男性	1(1)	1(1)	5(4)	5(9)	13(11)	25(26)
女性	0(0)	0(0)	3(3)	5(8)	15(13)	23(24)
計	1(1)	1(1)	8(7)	10(17)	28(24)	48(50)

平均年齢 59.8歳 (59.4歳)

イ 障害別

※()内は前年度実績

障 害 名	男 性	女 性	計
脳 性 麻 痺	14(15)	21(22)	35(37)
脳 血 管 障 害	3(3)	2(2)	5(5)
多 発 性 硬 化 症	1(1)	0(0)	1(1)
頭 部 外 傷 後 遺 症	3(3)	0(0)	3(3)
頸 椎 損 傷	1(1)	0(0)	1(1)
そ の 他	3(3)	0(0)	3(3)
計	25(26)	23(24)	48(50)

ウ 障害等級別

障害別	視覚	聴覚	言語	肢体不自由				内部障害	計
				上下肢	上肢	下肢	体幹		
1級	(2)	0	(3)	32	0	3	(4)	0	35(5)
2級	(1)	(1)	(1)	12	0	1	(2)	0	13(3)
計	(3)	(1)	(4)	44	0	4	(6)	0	48(8)

※ () 内は重複している障害/48名中療育手帳所持者10名

エ 障害支援区分別

※()内は前年度実績

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0(0)	1(2)	5(5)	19(19)	25(26)
女性	0(0)	0(0)	4(4)	19(20)	23(24)
計	0(0)	1(2)	9(9)	38(39)	48(50)

平均支援区分 5.77 (5.74)

オ 在園年数

※()内は前年度実績

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男性	1(0)	2(4)	4(2)	3(4)	2(2)	13(14)	25(26)
女性	0(1)	4(3)	0(0)	3(3)	0(0)	16(17)	23(24)
計	1(1)	6(7)	4(2)	6(7)	2(2)	29(31)	48(50)

平均在園期間 14.0年 (13.82)

(3) その他

ア 職員検診

実施月日	検査内容	対象者	実施機関	受診者数
6月2日～7月	定期健康診断	35歳未満職員	杜の都産業保健会	22
6月16日 ～1月28日	生活習慣病予防健診	35歳以上職員	坂総合病院他	26
9月2日～10月	腰椎検診(問診のみ)	夜勤従事職員	藤野整形外科	27
10月1日・5日	子宮頸がん検診	20歳代偶数歳 女性職員	利府掖済会病院	2
1月12日～2月	定期健康診断	夜勤従事職員	杜の都産業保健会	26
2月3日～3月	腰椎検診(X線・問診)	総務系職員を除く全職員	藤野整形外科	35

※インフルエンザ予防接種 48人

イ 会議・委員会等

新型コロナウイルス感染拡大を受け、職員全体会議は中止とし、全職員へ書面での周知へ変更しています。

今年度より、感染症に対する施設対応について協議することを目的に感染症及び食中毒対策委員会を設置しています。

会議名		実施日	出席者
職員全体会議		年2回→中止	書面にて周知
運営会議		月1回	施設長、課長、サービス管理責任者、生活班主任、地域班副主任
個別支援会議		月1～5回	施設長、課長、サービス管理責任者、ケース担当、健康班職員
班 会 議	男女ケア会議	男女ケアスタッフ 月1回	施設長、課長、サービス管理責任者、生活班職員
	地域班会議	4ヶ月に1回	施設長、課長、サービス管理責任者、副主任、地域班職員
給食会議		2ヶ月に1回	施設長、管理栄養士、課長、利用者代表、委託業者栄養士等
安全衛生委員会		2ヶ月に1回	産業医、施設長、課長、安全衛生管理者
安全防災委員会		3ヶ月に1回	防火管理者、生活班職員、地域班職員
虐待防止委員会		3ヶ月に1回	施設長、課長、サービス管理責任者、生活班主任 地域班副主任
感染症及び食中毒 対策委員会		2ヶ月に1回	課長、主任、副主任、看護師、栄養士、生活支援員

C ふぼう（障害者支援施設）

新型コロナウイルス感染防止の取り組みを最優先に考え、入所利用者を感染から守るために、職員はもちろん利用者の生活への行動制限を設ける対応を継続しなければならない一年でした。

職員にも家族感染による陽性者が出ましたが、施設内に感染が広がることはなく、利用者に感染は認められませんでした。

先の見えない我慢が続く日常に少しでもゆしみを感じてもらえるように、職員一同がアイデアを出し合い、施設内活動の内容を工夫し新しい試みを組み入れながら取り組みました。施設外活動においては個人外出が難しい中、感染対策を講じながらドライブ外出で季節の風景を楽しんでいただきました。

昨年度は開催できなかった三大行事の「春のつどい」「ふぼう祭り」「忘年会」を再開することができました。家族参加が叶わず、利用者職員のみで開催になりましたが、利用者からは喜びの声が聞かれました。

利用者の重度高齢化は顕著となり、コロナ対策と合わせ日々の健康管理を充実し体調の変化にいち早く対応することが何より重要でした。嘱託医との連携によって、地域医療機関への受診等、今まで以上に迅速な対応をとることができました。

しかしながら、入退院を繰り返すケースや入院期間の長期化が認められ、日常における医療的な支援の強化に努めました。

新規入所受入れの相談や見学希望等、外部との連絡調整が困難な状況ではありましたが、施設環境を撮影した動画を活用する等、工夫した対応に取り組み、今年度は6名の新規利用者を迎えることができました。一方で退所された利用者は4名いました。

給食業務委託契約に係る契約については、無事更新することができました。

衛生委員会を中心に、産業医による施設内巡回やストレスチェックの実施により、一年をとおして労災事故の防止に取り組みました。

1 生活介護、施設入所支援事業

新型コロナウイルス感染対策のために、通所、短期入所、面会において一部制限を設けた支援を継続しました。

入所利用者に対しても、近隣地域の状況を見ながらさまざまな活動を再開できるものと期待していましたが、昨年来の感染防止を最優先とした支援を継続せざるを得ない一年となってしまいました。

通所利用について入所利用者と活動場所を分ける対応を継続しました。通所スタッフが女性スタッフ2名に変わりましたが、男性利用者への支援には男性スタッフが都度協力する形で対応できました。

面会は窓越しで短時間を基本としながら、リモートでの面会もすすめてきました。

感染防止の対応に関しては、利用者とも話し合いながら制限のある生活に協力をいただいておりますが、外出や面会等がままならない状況の中、「飲食を伴わないドライブ外出」、「テイクアウトを利用した食事」、「充実した日中活動の提供」等、コロナの状況にあっても利用者が少しでも楽しい時間を持てるように工夫をしました。

ふぼう3大行事の「春のつどい」「ふぼう祭り」「忘年会」を再開することができました。実行委員の創意工夫により3密を避け、十分な感染予防対策をし、利用者の笑い声が聞こえる楽しい時間を作ることができました。

生活支援員兼務のサービス管理責任者が新任となり、新たな視点でより利用者寄り添った支援検討をし、個別支援計画に反映することができました。支援を実行する中で、特に即時性を持って対応しなければならないニーズに対しては、施設がバックアップし実現できたものもありました。

(1) 入所、退所状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所者	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	6
退所者	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4

(2) 外出支援状況

ア 外出（半日） (単位：人)

実施日	場 所	参 加 者
7月13日(火)	ドライブ外出(村田町内)	利用者2 職員2
7月16日(金)	ドライブ外出(七ヶ宿ダム)	利用者2 職員2
7月19日(月)	ドライブ外出(紫陽花ロード)	利用者2 職員2
7月30日(金)	ドライブ外出(村田町内)	利用者2 職員2
8月03日(火)	ドライブ外出(仙台空港)	利用者2 職員2
8月24日(火)	ドライブ外出(川崎方面)	利用者2 職員2
8月27日(金)	ドライブ外出(村田町内)	利用者2 職員2
9月15日(水)	ドライブ外出(村田町内)	利用者2 職員2
9月16日(木)	ドライブ外出(仙台空港)	利用者2 職員2
9月17日(金)	ドライブ外出(仙台空港)	利用者2 職員2
10月13日(水)	ドライブ外出(仙台空港)	利用者2 職員2
10月14日(木)	ドライブ外出(川崎方面)	利用者2 職員2
10月19日(火)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者2 職員2
10月29日(金)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者2 職員2
11月09日(火)	ドライブ外出(仙台空港方面)	利用者2 職員2
11月12日(金)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者2 職員2
11月16日(火)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者2 職員2
11月26日(金)	ドライブ外出(仙台空港方面)	利用者2 職員2

イ 外出（終日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。

ウ 宿泊旅行

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。

(3) 個人外出状況（延べ人数） ※（ ）内は前年度数 （単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1(5)

(4) 個人外泊状況（延べ泊数） ※（ ）内は前年度数 （単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
泊数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	16
合計	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	16(112)

(5) 日中活動と慰問参加人数（延べ人数） ※（ ）内は前年度数 （単位：人）

創作	カラオケ	運動	DVD(YouTube含む)	花火大会
279	22	147	217	47
個別支援	かき氷	園芸	美容	イベント
138	40	33	34	0
慰問(5団体)	チョコフォンデュ	脳トレ	テイクアウト	スイカ割り
0	46	60	87	34
調理教室				参加者合計
4				1188 (801)

今年度に入り、前年度以上にコロナウイルスの変異株による感染拡大が認められ、施設外の活動を中止や制限をしなければならない状況が続きました。

利用者へどのように楽しい時間を提供できるか、日中活動担当への期待と役割が大きくなる中、アイデアと工夫を重ねて活動を実施しました。

昨年度より、参加人数が多かったことや活動メニューが増えたことは良かったと考えています。

今後もコロナ収束まで、工夫した活動に取り組み、利用者の楽しい時間を過ごせる活動を支援していけるように努力します。

- ア 創作活動 … 七夕飾り、装飾作り、切り絵、翌月カレンダー
- イ 運動 … 散歩
- ウ 園芸 … 野菜の苗植え、収穫
- エ 美容 … リラクゼーション、足浴、ネイル、爪切り
- オ 個別支援 … 編み物、ビーズでの小物作成、読書、塗り絵
- カ 脳トレ … オセロ、テーブルゲーム、パズル、間違い探し
- キ 観賞 … DVD・ユーチューブ（動画・歌・映画等）

(6) 健康管理について

嘱託医師との連携を図り、利用者の体調不良時には、今まで以上に病院受診等を迅速にすすめることができました。

昨年度、重積発作で入院したケースがありましたが、今年度は薬の調整により重積発作も認められず、落ち着いて生活を送ることができていました。

今年度からの新たな傾向として、腸閉塞で繰り返し入院するケースが多くありました。例年にはなかった精神科の入院も数件ありました。

利用者の重度高齢化は顕著になっており、そして進行性疾患の方のADL低下も目立ってきています。日常における利用者個々の健康管理を何より重要視し、日々の体調変化に対応した支援を充実させ、利用者の健康の維持、増進を図れるよう努めます。

新型コロナウイルス感染対策として、発熱時には嘱託医指示で抗原検査を施行、必要時PCR検査を施行しました。

2月、職員のコロナ陽性を受けて、濃厚接触が認められた利用者28名はPCR検査を受けました。結果、コロナ感染について陰性でした。

現在まで利用者への感染はありませんが、継続して徹底した感染対策をおこない、利用者に感染者を出さないことを最優先とした対応をしていきます。

ア 利用者の検診

(単位：人)

実施年月日	検査内容		受診者数
7月1日～29日	血液検査		60
6月10日	検便（サルモネラ菌・腸管出血性大腸菌）		58
7月6日～10日	検尿（蛋白・糖・潜血）		58
10月21日	基本健診（心電図・胸部XP）		56
5月・8月	全身体重測定		58
9月15日	がん検診	・子宮がん検診	0
		・前立腺がん検診	7
		・大腸がん検診	9
9月22日	歯科検診		58

イ 利用者の通院状況（延べ人数）

※（ ）内は前年度数

(単位：人)

内科	消化器	神経内科	乳腺外科	泌尿器科	てんかん科
11 (22)	12 (12)	33 (31)	1 (2)	14 (22)	12 (12)
眼科	婦人科	皮膚科	救急外来	整形外科	PEG交換
3 (6)	3 (5)	23 (14)	2 (1)	47 (43)	19 (22)
形成外科	リハビリ科	外科	歯科	精神科	糖尿外来
8 (9)	2 (0)	3 (8)	0 (16)	66 (55)	7 (7)
循環器科	医師意見書	麻酔科	小児血液		計
11 (4)	10 (0)	1 (0)	2 (0)		290 (293)

※ 通院とは別に、月1回来所する嘱託医による施設内診察がおこなわれています。

ウ 利用者の入院状況 ※ ()内は前年度数

病 院 名	入院数 (回)
みやぎ県南中核病院	6
今野病院	15
仙南サナトリウム	1
川崎こころ病院	1
宮城県精神医療センター	1
大泉記念病院	1
計	25 (24)

(7) リハビリテーションについて

理学療法士と生活支援員主体によるリハビリをおこないました。プログラムとしては日常生活動作において重要な関節可動域や筋力の維持向上を図るため、関節可動域訓練、マシントレーニングを中心に、起居動作訓練、歩行訓練等おこないました。

今年度はマッサージ希望の利用者も増え、徒手マッサージの他、下肢マッサージ機の使用も再開しました。

その他、リハビリ担当として支援員や看護師と協議し、利用者情報を随時取り入れながらリハビリの回数を調整し、新規でリハビリに入る利用者の検討をすすめながら実施につなげることができました。

車椅子・短下肢装具作成については判定等に外出を伴うため、コロナウイルスの感染状況を確認しながらの判断、対応となりました。

ア 理学療法士・支援員の実施件数 (単位：回)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ビタグライド	25	42	37	35	48	28	34	48	44	35	42	28	446
メイウオーク	2	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	7
セラバイタル	44	43	49	60	68	40	33	40	42	50	58	30	557
歩行訓練	18	20	22	19	12	15	18	13	15	9	7	10	178
ボール運動	2	3	4	4	3	4	2	2	1	1	1	0	27
ストレッチ	3	3	5	6	6	5	3	1	2	1	2	3	40
マッサージ	36	35	14	13	13	14	34	32	33	34	30	31	319
起居動作訓練	19	23	20	24	25	23	21	19	22	23	22	24	265
関節可動域訓練	52	49	55	50	55	53	53	44	59	64	63	43	640
ラビット	38	33	35	36	40	37	31	25	30	29	25	21	380
その他	15	9	17	11	12	9	9	9	13	12	15	15	146
計	254	262	258	259	282	228	239	233	262	258	265	205	3005

イ 補装具申請状況（申請中は除く）

補装具修理申請	19 件
補装具支給申請	4 件

(8) 食事について

高齢化、障がいの重度化は進んでおり、さらに医療面で食事に指示のある利用者も増えてきています。厨房スタッフを含めた多職種との連携を図り、日々の食事提供をおこないました。

提供している食形態について、摂食委員会から仙南保健福祉事務所に相談をし、実際に提供している給食をみてもらいながら助言をいただきました。話し合いには委託業者（日清医療食品）も参加してもらい、利用者に安心安全に食べていただけるような提供形態について検討しました。来年度も継続していきたいと考えています。

施設行事については、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、ご家族や地域の方は参加せず利用者だけの行事となりました。いずれの行事もお弁当での昼食提供で、おしながきは利用者を書いてもらったものを使用しました。

昨年度実施できなかったおやつバイキングでは、7月はコロナワクチン接種と日が重なり、事前聞き取りによるデザート提供になりましたが、10月は感染対策を十分にしながら好みのデザートを利用者自身に選んでいただくことができました。3月には約2年ぶりにすし給食も実施することができ、とても喜ばれていました。

地震や台風などの自然災害に備えた非常食について備蓄をし、厨房栄養士と連絡を密にとることで非常時でも食事の提供をしっかりとできるように努めました。

栄養ケアマネジメントにおいては、利用者の栄養状態、本人の希望の把握に努め、嘱託医師、各部署と連携しながら、より利用者にあった食事内容や栄養剤の選択に努めてきました。

12月に委託給食業者選定を実施し、来年度以降も引き続き日清医療食品との契約に決まりました。

(9) 相談（入所、通所、短期入所）業務について

職員が新型コロナウイルスに感染した影響で、一時通所利用を休止した期間がありました。短期入所に関しては、緊急性を考慮し、感染対策を行った上で実施しました。実態調査や見学等も制限や延期・中止の期間がありましたが、相談件数自体は徐々に増えてきており、見学や実態調査時には感染対策を十分におこない、ふぼうの様子を撮影したDVDも活用し対応しています。

区分調査について、コロナウイルスの蔓延期間に於いては、電話聞き取りでの区分調査（1名）や、1年間延期の臨時的措置（3名）での対応となったケースもありました。

新規入所に関しては、入院後自宅での生活が困難なことから入所希望となる 경우가多く、緊急性を考慮して優先的に対応しました。今年度は6名の新規入所となっていますが、利用者の重度高齢化が進み、入院や退所となる利用者も増え、なかなか定員数に達することができない状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症の影響は利用者の退所にも出ています。感染防止対応のため、自由に外泊ができないことを理由に、1名が退所しました。退所後、待機申請を受理しました。

新規入所6名（待機者9名、待機取り消し0名）、通所0名、短期入所1名の利用がありました。

相談内容	相談件数	見学者数	調査件数
入所に関する事	29	6	5
通所に関する事	2	1	0
短期入所に関する事	13	4	1
その他	3	0	0
合計	47件	11人	6件

(10) サービス向上への取組み

ア 苦情・要望の受付

施設利用者からの苦情や要望について、迅速かつ適切に対応し、サービスの質の向上を図るため、平成14年度より本制度を設置しています。

また利用者やその家族、職員が要望をあげやすいように意見箱を施設内3か所に設置しています。

〔苦情受付件数〕 : 0件

〔要望受付件数〕 : 0件

イ 障害者虐待（相談・通報・届出）の受付

障害者虐待防止法の施行に伴い、利用者への虐待防止と人権擁護等のため、平成24年10月より虐待防止委員会を設置しています。

ふぼうでは、平成29年度から、虐待防止委員会は虐待事案が発生した時に開催する形をとっていましたが、その事案がなかったことから開催はされていませんでした。その代替えとなる委員会として、「生活向上委員会」を新設しました。虐待を未然に防ぐための取組みをより具体的に職員が意識できるように委員会の開催が必要と判断し、令和2年度から四半期に分け開催しています。

職員に対して実施される虐待防止セルフチェック項目は、内容の見直しをかけ、より虐待に直接的に通じる設問部分に関しては、年2回に調査回数を増やしました。

加えて令和2年度より、直接利用者に調査する「ぎゃくたいアンケート」をおこなってきました。ぎゃくたいアンケートは、法人規約内の倫理綱領等にあるものを利用者にわかりやすい文章にしたもので、職員にはこのような禁止事項があると改めて意識づけになったという効果もありました。虐待と認められないものでも、アンケートからあがった利用者の声や思いは、各種会議で職員に周知することで支援の向上につなげました。

〔受付件数〕 : 0件

2 短期入所事業

新型コロナウイルス感染症拡大予防として、短期入所受け入れを基本休止とし、緊急性のある方やロングでの利用の方を受け入れました。利用中も様々な制限にご理解と協力をいただきました。再開を待ち望んでいるご家族も多く、問い合わせも数件ありましたが、難しい状況の説明をし、ご理解をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、利用実績は昨年度同様に減少となりました。

ア 利用実績 ※ ()内は前年度数

月	区分6		区分5		区分4		区分3		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	0	0	1	30	0	0	0	0	1	30
5月	0	0	1	31	0	0	0	0	1	31
6月	0	0	1	3	0	0	0	0	1	3
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	20	0	0	0	0	0	0	1	20
9月	1	7	0	0	0	0	0	0	1	7
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	27	3	64	0	0	0	0	5(15)	91(61)

イ 児童の利用実績 ※ ()内は前年度数

月	区分3		区分2		区分1		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月～9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月～3月	0	0	0	0	0	0	0(0)	0(0)

3 家族との関係

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年から継続して、外泊は中止としています。面会については、利用者の居室ではなく、決められた部屋でガラス越しに時間制限を設けての面会を継続しています。ZoomやLINEを活用してのリモート面会をとおして、少しでも利用者のご家族に安心していただける時間を作りました。

家族参加の行事も中止になり、面会の機会が少なくなったため、担当者が中心となって、電話連絡で利用者が家族との会話を楽しむ時間を設けたり、行事や活動の様子を写真にして手紙と一緒にお届けしました。

日々の生活の様子だけではなく、体調の変化や受診時の結果等、状況に応じて速やかに家族に連絡し、安心してもらえるよう必要時には看護師から説明をおこなっています。

面会人数												※ ()内は前年度数	(単位：人)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
12	26	22	13	20	18	25	29	31	20	8	10	234	
(0)	(0)	(72)	(55)	(38)	(42)	(35)	(30)	(25)	(17)	(17)	(12)	(343)	

4 地域との連携・地域公益活動

近隣4行政区との関係構築が重要であり、機関紙「ひまわり」を配布し、多岐にわたり、より多くの方に「ふぼう」を知っていただけるよう情報発信と利用者の生活状況を理解してもらえるよう努めました。近隣行政区の沼辺北区に消防団が組織され、防災訓練との連携を模索しておりましたが、新型コロナウイルスのために実現とはなりませんでした。

今年度の計画に挙げた、地域住民との交流や町内への外出などで地域を知り交流を図ることについては、新型コロナウイルス感染対策のために中止にせざるを得ませんでした。毎年参加していた村田町における「福祉まつり」も中止となり、感染の不安をぬぐえない限り、外出や地域との交流は困難な状況でした。

ふぼうの利用者の重度化あるいは高齢化により、地域の医療機関との協力は不可欠なものになっています。船岡今野病院の白井修一医師が嘱託医師となり、今まで以上に協力病院をはじめ、地域の各専門の医療機関と迅速に連携が取れています。

慰問やボランティア、また実習生の受入れについては現在も休止状態になっています。

村田町役場とは福祉避難所、台風被害時の車の避難場所として提携しています。3月16日の地震の際には福祉避難所開設要請の問い合わせもありました。

5 職員の資質向上

施設内外において、職業人としてのマナーや法人職員として必要な職務態度などの研修をおこない、組織としての規律性、協調性、積極性を高める研修を目標にしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような実施とはなりませんでした。

外部研修は中止になることが多い状況でしたが、リモートでの研修は参加することができました。

仙南保健福祉事務所の協力で摂食嚥下の研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の対応業務が多忙とのことで単独での研修実施とはなりませんでした。しかし、支援課会議内に組み入れることで実施することができ、摂食嚥下に対する考え方を改めて見つめ直す良い機会となりました。

ア 施設内研修

月 日	内 容	会 場	人数
4月 1日～7日	新任職員研修	ふぼう	3
7月 13日	障害者虐待防止研修会（リモート）	ふぼう	3
7月 26日～27日 8月 16日～17日	宮城県サービス管理責任者等基礎研修（リモート）	ふぼう	1
9月 12日	医療的ケア教員講習（リモート）	ふぼう	1
11月 10日 ～12月 10日 12月 13, 15, 17, 20, 22日	東北ブロック身体障害者施設協議会職種別研修（リモート）（看護師・栄養士・サビ管・理学療法士・生活支援員）	ふぼう	5
12月 16日～17日	宮城県サービス管理責任者等実践研修（リモート）	ふぼう	1
2月 14日	宮城県サービス管理責任者等更新研修（リモート）	ふぼう	1
3月 1日～7日	新任職員研修	ふぼう	1
3月 8日	令和 3 年度介護実習・社会福祉援助技術現場実習教育懇談会（リモート）	ふぼう	2
3月 25日	摂食嚥下研修会	ふぼう	15

6 安全管理と防災対策

6月に「夜間想定避難訓練」、10月に「総合防災避難訓練」を、施設内の関係者のみでおこないました。

「非常用緊急連絡網」は、年2回の訓練以外に実際にも利用する状況がありました。現在の連絡網には、勤務者のみならず休日の職員にも連絡が伝わる利点がありました。非常用緊急連絡の返信には用意された定型文がありますが、実際の返信内容は、それぞれが自分で文章を作成してしまう例も多くあったため、今後周知に努めます。

令和4年3月16日に震度6弱を観測する地震がありました。建物はアスファルトのひび割れ、一部破損が認められたものの、大きな被害はありませんでした。利用者も居室のテレビやタンスが倒れた報告がありましたが、怪我はなく大事には至りませんでした。家具の転倒防止対策を改めて依頼しました。地震発生時は施設長と防災委員（主）が連絡を取り、緊急連絡網を通じて指示を出しました。防災委員以外の数名の職員も施設に駆けつけました。震度5強で全員参集となってはいますが、「家の状況がひどく、行ける状態ではなかった」という職員も少なくありませんでした。

安全防災に関しては、情報や手順・方法等、職員間で共有をしなければならないことが多々あり、また日々アップデートしていくことが重要です。全職員から、災害時の疑問や問題点を出してもらい、「災害発生時における初動体制」や「行動の在り方」について、委員会内で再度検討していきます。

また、自主点検も継続的にこない、施設内環境のチェックと災害防止に努めました。

月 日	内 容	人数
6月16日	夜間想定避難訓練	4
随時	緊急連絡網による非常通報訓練（勤務者を除く）	全職員
10月13日	総合防災避難訓練	勤務者

7 資 料

(1) 各事業の利用者数（延べ人数）・稼働率 ※（ ）内は前年度実績

ア 入所支援

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	900	974	938	992	975	924	972	930	974	992	982	1003	11556 (11433)
女性	720	744	720	744	744	738	728	720	693	682	614	729	8576 (9258)
合計	1620	1716	1658	1736	1719	1662	1700	1650	1667	1674	1596	1732	20130 (20691)
一日平均	54.0	55.4	55.3	56.0	55.5	55.4	54.8	55.0	53.8	54.0	57.0	55.9	55.2 (56.7)
稼働率	90.0	92.2	92.1	93.3	92.4	92.3	91.3	91.6	89.6	90.0	95.0	93.1	91.9 (94.5)

イ 生活介護（通所含む）

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	679	739	704	752	744	699	720	697	751	748	672	767	8672 (8666)
女性	570	586	576	592	566	584	601	568	547	541	480	570	6781 (7184)
合計	1249	1325	1280	1344	1310	1283	1321	1265	1298	1289	1152	1337	15453 (15850)
一日平均	56.8	57.6	58.2	58.4	56.9	58.3	57.4	57.5	56.4	56.1	57.6	58.1	57.4 (58.9)
稼働率	94.6	96.0	96.9	97.3	94.9	97.1	95.7	95.8	94.0	93.4	96.0	96.8	95.7 (98.2)

ウ 短期入所

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(19)
女性	30	31	3	0	20	7	0	0	0	0	0	0	91(42)
合計	30	31	3	0	20	7	0	0	0	0	0	0	91(61)
一日平均	1	1	0.1	0	0.6	0.2	0	0	0	0	0	0	0.25 (0.17)
稼働率	20	20	2	0	12	4	0	0	0	0	0	0	5.0% (3.4%)

(2) 入所者に関する資料 (令和4年3月31日現在)

ア 年齢別

(単位：人)

	～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	計
男	1	2	1	17	12	33
女	0	1	1	12	11	25
計	1	3	2	29	23	58

(平均年齢 59.6才)

イ 障害別

(単位：人)

障害名	男	女	計
脳性麻痺	19	15	34
脳血管障害	4	3	7
水頭症	0	0	0
頭部外傷後遺症	3	2	5
てんかん	1	1	2
脳腫瘍後遺症	0	1	1
脊髄小脳変性症	0	0	0
その他 難病および特定疾患	6	3	9
計	33	25	58

ウ 障害等級別

(単位：人)

障害別	視覚	聴覚	言語	肢体不自由	内部障害	計	
認定	1級	1	1(1)	(4)	34		36(5)
	2級			(1)	14		14(1)
	3級				5		5(0)
	4級	(1)			2		2(1)
	6級				1		1
計	1(1)	1(1)	(5)	56		58(7)	

※58名中、療育手帳所持者19名。()内は重複されている障害。

エ 在所期間 (前宮城県不忘園からの継続期間)

(単位：人)

	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	計
男	4	2	5	6	2	2	12	33
女	2	1	3	3	3	1	12	25
計	6	3	8	9	5	3	24	58

オ 障害支援区分別

(単位：人)

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	計
男	21	9	1	2	0	0	33人
女	14	8	3	0	0	0	25人
計	35	17	4	2	0	0	58人

(平均区分 5.5)

(3) その他

ア 職員の検診

(単位：人)

実施月日	検査内容	対象者数	実施機関	受診者数
8月～9月	基本健康診断	35歳未満	公立刈田総合病院	6
	生活習慣病予防健診 (子宮癌、乳がん)	35歳以上	公立刈田総合病院 成人病予防協会 医師会健康センター	38 1 1
6月～7月	腰痛検査(レントゲン検査)	介護職員 看護師	善積整形外科	40
1月～2月	腰痛検査(夜勤従事者)	介護職員	善積整形外科	29
2月～3月	介護職員(夜勤従事者)	介護職員	今野病院	29

イ 会議・委員会等

職員全体会議	全職員(勤務者を除く)	年2回
運営会議	施設長、課長、主任、サービス管理責任者	月1回

生活支援課会議	当日の勤務者（夜勤者を除く）	隔月
主任・副主任会議	主任1名、副主任2名	随時
ケアプラン検討会議	サビ管、主任、看護師、管理栄養士、生活支援員	月3～4回
ケース会議	課長、主任、副主任2名、ケース担当者	随時
給食会議	施設長、課長、主任、サビ管、管理栄養士、給食業者	隔月
入所調整会議	施設長、課長、サビ管、主任、看護師、管理栄養士、 実態調査対応職員	随時
リスクマネジメント 委員会	看護師、生活支援員	隔月
摂食委員会	管理栄養士、理学療法士、生活支援員	月1回
安全防災委員会	防火管理者、総務課課長、生活支援員	隔月
業務改善委員会	看護師、生活支援員	月1回
生活向上委員会	生活支援員、利用者代表	隔月
虐待防止委員会	施設長、課長、サビ管、生活支援員、利用者代表	1ヶ月毎
衛生委員会	施設長、看護師、生活支援員、オアシス(衛生管理者)、 事務員、産業医	毎月

D 啓生園（障害者支援施設）

新年度早々から感染が拡大したことから、入所者の外出・外泊・面会制限の対応をおこない利用者の感染予防を最重要課題として、職員一丸となって取り組みました。

コロナ禍でのストレス解消を図るため、行事や日中活動の内容を工夫して提供する一方、利用者が強く希望する外出ショッピングは、10月の感染者数減少期に2カ月間だけの実施となったことは、非常に残念な結果となりました。

施設設備の面では、区域の高圧電線や建物の電気設備が経年劣化のため、非常に危険な状況になったことから、近隣施設と同時期に大規模な更新工事をおこない、施設の安全性を維持することができました。

今年度の特徴として、新たに6つの委員会の運用を開始し、それぞれの委員会活動が、その個性や特徴を活かした提案や研修企画により職場環境向上に機能し、施設運営が活性化した一年でもありました。

感染症食中毒対策検討委員会は、施設内感染の発生を想定した訓練をおこない、利用者の居住区域での食事や日常生活支援方法や防護服等の取扱いについて経験を重ね、後半は感染度レベルに応じたゾーニング研修をおこない、施設内感染の発生に備えました。

環境整備委員会は、年々増加する保存文書の整理や収納方法の提案のほか、利用者支援上の備品保管場所や衛生管理についても提案をおこない、業務改善委員会と連携して、施設の衛生管理業務見直しに取り組みました。

また、利用者の権利擁護について知識を深め、日々の業務上起こりうるアクシデントや利用者とのコミュニケーション上の摩擦によって、職員のアンガーマネジメントの重要性は高まっています。内部研修委員会や虐待防止委員会は、職員の資質向上をテーマとして、社会人としての職務姿勢やマナー、あるいは不適切ケアの防止のために職員の言葉使いに着目し、アンケート結果を基に不適切な言動が発生する要因を確認し合い、職員間で指摘し合える人間関係の醸成に取り組みました。

公益的な取り組みとしては、地域における施設機能の便宜供与はできませんでしたが、小さな一歩として、利用者自治会と共同で幸町地域の清掃活動を実現できたことは、非常に有意義なひと時でした。

最後に、今年度はじめて第三者評価制度を利用し、客観的に当施設運営や利用者ニーズを分析していただいた結果、下記のとおり5つの課題についてご指摘をいただきました。今後は、職場全体でこの課題に向き合い改善に取り組んでいきます。

- (1) 施設運営の中長期計画の策定と基本方針・基本理念の明確化
- (2) 職員の人材育成計画に係るキャリア習熟度に応じた研修体制の整備
- (3) 地域に開かれた施設運営と情報開示・広報紙の発行
- (4) 各種支援マニュアルの整備等によるガバナンスの強化
- (5) 利用者満足度調査の実施による施設利用者のニーズ把握と事業展開

1 生活介護事業・施設入所支援

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じる中、「この状況下に置かれた私達は何を失い、何を得たのか？」という問いを礎とし、生活支援と社会活動に活かすべく、今年

度取り組みました。

活動や行事では、「けいせいリンピック」が中止となったものの、仙台フィルハーモニー管弦楽団を招いての「エンタメ鑑賞会」、通年で出かけた「ドライブ外出」など、新たな催しを実施することができました。

2年目となった園芸活動による野菜や花々の様子について、「朝の連絡会」を通して利用者と話し合いながら、成長と収穫の喜びを味わうことで生活に潤いを感じていただくことができました。

健康面では、新型コロナウイルス以外の感染症対策にも効果がある、共用部消毒、マスク着用、定時換気について、理解を求める機会を増やし、施設全体で取り組みました。テレビや新聞からの情報を注視し、買い物外出が制限される中、感染予防に関する意識も次第に変わってきました。

その他、入所者自治会「はぎの会」と、毎月1回役員会を開き、利用者の声を生活に反映させる目的で「自治会ノート」と「給食ノート」を設置し、積極的な自治会活動を施設も連携しておこないました。

年末行事「聖夜会」の共催、地域清掃の実施など、新たな取り組み等もおこない、施設入所者と施設運営が連携して、コロナ禍の生活で何ができるのか模索しながら取り組んだ一年となりました。

(1) 健康管理

主治医との連携強化に努めながら、各種検診等の利用者健康管理をおこないました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化している中、各利用者の健康や生活に対する不安も増加してきたことから、1対1で会話をする機会を増やすことで、精神面なサポートにも重点をおきました。

ア 利用者の健康診断

(単位：人)

実施日	実施内容	実施人数	合計
6月	尿検査・体重測定	入所：34 通所：9	合計：43
6月 (感染症予防対策中止)	内科検診	入所：0 通所：0	合計：0
7月21日	生活習慣病健診 血液検査、心電図、視力	入所：34 通所：9	合計：43
7月21日	胸部レントゲン	入所：32 通所：9	合計：41
7月15日～7月21日	大腸癌検査	入所：33 通所：8	合計：41
6月7日・6月28日 9月13日・10月4日	新型コロナウイルスワクチン接種	入所：32	合計：32

8月、9月	新型コロナウイルスワクチン接種 付き添い	通所：2	合計：2
11月15日 11月19日	インフルエンザ予防接種	入所：30 通所：4	合計：34
1月28日 2月1日	内科健診	入所：34 通所：8	合計：42

イ 訪問歯科診療（有料）毎週（木）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	46	47	42	46	30	36	39	43	37	37	44	55	502

ウ 訪問マッサージや鍼灸治療等（有料）

*アスター治療院（月）・（水）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	9	15	13	10	13	15	11	14	16	12	11	15	154

*リーフマッサージ治療院（月）～（金）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	13	21	23	21	21	20	38	50	50	51	49	61	418

エ 日常業務として、定期通院、臨時通院、代理受診、毎日の検温、体調確認、内服薬管理、血圧管理、点眼介助、創処置等をおこない、健康管理に努めました。

オ 栄養管理に基づいた、利用者に合わせた安全・安心な食事形態の提供に努めました。

新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、発症時の食事提供シミュレーションを2回実施し、厨房との連携も図っています。コロナ渦中、「食べる楽しみ」に重点を置き、月1回定期開催される「給食会議」におけるご意見・ご要望を取り入れ、行事食や郷土料理の中に「旬」の食材を使用。普段の給食に「新メニュー」、「選択食」、「企画メニュー」、「外食産業食」を加えながら、利用者が心待ちになるような食事提供に努めました。非常食に対し慣れていただけるよう、時折「備蓄品」を通常献立の中に取り入れました。昨年に引き続き、園内の「農園野菜」で育てた野菜を給食の食材に加えた事で、給食への関心が高まった様子が感じられました。

○行事食

実施月日	行事食	献立名
5月1日	開園記念日	赤飯、ほたて貝、海老フライ、ロールケーキ等
7月7日	七夕献立	七夕ちらし、さっぱりそうめん、いかと大根のかき揚げ、すいかゼリー等

8月7日	七夕元気ランチ	赤飯，一口ヒレカツ，ブリの照り焼き，揚げ茄子煮びたし，一口そば，すいか等
10月21日	園内芋煮会	芋煮，おにぎり，たくあん漬け
12月17日	聖夜会	握り寿司，一口そば，オードブル，飲料
12月24日	クリスマスメニュー	ケチャップライス，豚(鶏)レモンステーキ，コーンポタージュ，苺デザート
12月31日	大晦日	年越しそば，いんげんと笹かまの辛子和え，南瓜のミルク煮，みかん
1月1日	おせち料理	赤飯，お雑煮，根菜炒め煮，ゼリー等
2月11日	建国記念の日	赤飯，鶏肉照り焼き，生揚げと切干大根煮，フルーツポンチ
2月23日	天皇誕生日	はらこ飯，すまし汁，ほうれん草ともやしナムル
3月3日	雛祭りメニュー	えびめし，梅タンスープ，そばサラダ，ぜんざい，桜ゼリー

○その他

- ・令和3年度嗜好調査（1回）
- ・栄養指導
 - a 摂食・嚥下 食事形態変更（粗刻み食→一口大：1名 形態アップ）
 - b 食具変更 ソフト食提供者1名（シリコンスプーンS→M、フォーク）
- ・コロナ発症時食事シミュレーション実施（朝食1回・昼食1回 計2回）
- ・生活習慣病予防健診：朝食時軽食提供
- ・選択食実施（11回）
- ・新企画メニュー（日清：7回、栄養士：4回）
- ・新メニュー提供（7回）
- ・外食産業食提供（8回）
- ・食器変更：湯飲み茶碗（90個）
- ・包丁殺菌庫買い替え

(2) 教養娯楽・余暇支援

ア 行事等

(単位：人)

実施月日	行事名	利用者	職員	家族	ボランティア
4月5～8日	ドライブ外出(桜を觀に行こう)	35	20	—	—
5月21日 ～6月29日	ドライブ外出(松島へ行こう)	24	26	—	—
8月11～30日	ドライブ外出(海を見に行こう)	6	4	—	—
10月14～25日	ドライブ外出(紅葉へ行こう)	12	12	—	—
7月30日	エンタメ鑑賞会	45	21	—	—
9月10日	けいせいリニピック2021! (緊急事態宣言発令の為中止)	—	—	—	—
12月17日	聖夜会2021	43	18	—	—

イ 他団体行事

実施月日	行 事 名	参加者
5月30日	手芸教室（主催：県障害者福祉センター）	1
10月17日	フラワーアレンジメント&盆点前教室（主催：県障害者福祉センター）	1
10月17日	クワイアチャイム（主催：県障害者福祉センター）	1
11月21日	クワイアチャイム（主催：県障害者福祉センター）	2
11月23日	わくわくダンスパラダイス（主催：県障害者福祉センター）	1

(3) サービス向上への取り組み

ア 苦情・要望の受付

入所者自治会と連携し、施設への要望を聞く機会を密に図ってきました。施設の運営上の考えを報告することで、事前に利用者が疑問に思うことの解消を図ることができました。

特に、新型コロナウイルス感染症の予防措置として、外出外泊の制限を長期間お願いしたことで、利用者のストレスや不満が生じましたが、その都度地域の感染状況と施設内の感染まん延の怖さをご理解いただき、感染者を出すことなく過ごすことができました。

今後は、コロナと共に歩む生活支援を課題として、外出支援や買い物支援の実現にむけて検討協議をしていきます。

〔苦情受付件数〕 : 0件 〔要望受付件数〕 : 0件

イ 障害者虐待（相談・通報・届出）の受付

施設内で設置した虐待防止委員会を中心に、虐待発生原因を検討し、全職員にアンケートを実施しました。

虐待発生の一因である、職員の不適切ケアに焦点を当て、日頃の利用者支援上で繰り返されるコミュニケーションを検証し、言葉使いと職員の姿勢、丁寧な対応について確認する研修を繰り返した結果、虐待発生を未然に防ぐことができました。この研修は、毎年1回実施していきます。

〔受付件数〕 : 0件

2 短期入所事業

コロナ禍においても休業することなく、在宅障害者の地域拠点として、サービス提供を継続してきました。

前年度と比較して利用日数や実人数ともに増加しました。在宅での主たる介護者の入院等、介護力の喪失により、長期緊急受け入れの件数が複数回あったことが理由となりました。

3 職員の資質向上

(1) 施設外研修会

研修日	研修内容	参加者
7月26日～8月1日 8月16～19日	宮城県サービス管理責任者基礎研修	1
8月3日	アサーティブ研修	1
8月20日	労務管理研修	1
8月26日	アンガーマネジメント研修	1
9月14日	障害福祉サービス事業所等感染拡大防止対策研修会	1
9月17日	会計担当職員研修②(応用編)	1
10月18日	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのゾーニング実施指導	1
10月22日	アセスメントに必要な基礎知識	1
11月10日～ 12月10日	東北ブロック身体障害者施設協議会職種別(専門)研修会	3
12月3日	宮城県サービス管理責任者等更新研修	1
12月13日	感染症対策強化のためのBCP計画策定研修	1
12月16～17日	宮城県サービス管理責任者等実践研修	1

(2) 施設内研修会

実施月日	研修内容	参加者
6月17日	啓生園内部研修 「礼節」	16
3月24日	啓生園内部研修 「摂食嚥下」	14

(3) 職員会議

実施月日	会議内容	参加者
4月23日	職員全体会議(前期) 令和3年度施設運営について 各種委員会による今年度の活動計画協議	17
6月17日	他施設の状況 各課からの連絡事項 今後の行事予定 各委員会の取り組み状況について(中間報告) 職員内部研修	19
8月19日	労働時間とタイムカード・預り金の管理について 各課からの連絡事項 各種委員会の内部研修 研修報告 ケアスタッフ会議	15

10月21日	利用者減による収入減 上半期事業・各種委員会・係担当の反省と評価 第三者評価の最終報告 預り金管理方法の変更 各課、各委員会、各担当からの連絡事項 就業規則を再確認する 研修報告 ケアスタッフ会議	15
12月16日	時間外、深夜の割増賃金の次年度取得申請について 令和4年度第二啓生園との合同行事に関する協議について 育児・介護休業法改正 次年度の業務改善事項 生活支援課より不適切ケアの防止に関する報告 研修事後報告 聖夜会2021事前打ち合わせについて ケアスタッフ会議	12
2月17日	令和4年度事業計画について 令和4年度予算計画 今年度中の購入予定について 主な行事 ケアスタッフ会議	11

4 実習生の受入れについて

令和3年度の受入れ実績はありませんでした。

5 安全管理と防災対策

(1) 安全管理

実施月日	保守点検整備
毎月実施	エレベータ定期点検
隔月実施	電気設備点検
6ヶ月毎実施	レジオネラ属菌検査 浴室ボイラー定期点検 汚水槽、グリストラップ清掃 自動ドア定期点検

(2) 防災・防犯対策

年3回、消防訓練を実施して職員・利用者の防災意識を高めました。

また、東北ブロック身体障害者施設協議会による防災シミュレーションや宮城県の要請に応じた原子力災害訓練にも参加しています。

6月22日	第1回夜間想定避難訓練
10月8日	第2回合同避難訓練
1月28日	宮城県原子力災害訓練
2月10日	東北ブロック防災シミュレーション
3月24日	第3回合同避難訓練

6 施設の保全 修理・工事

実施月日	内 容
6月25日	浴室ボイラーろ過機表示器及び膨張水槽修繕
7月27日	啓生園1階 西側外部増築部分の撤去工事
7月28日	厨房給水栓交換工事
8月20日	当直室エアコン修繕
9月2日	スプリンクラー設備修繕
9月14日	ろ過装置操作盤交換作業
10月13日	渡り廊下倉庫解体に伴う砕石敷均し工事
11月1日	食堂洗面台排水修繕工事
11月2日	スロープ及び柱の緩衝材設置
11月19日	停電灯及びインターホンのバッテリー交換工事
12月7日	食堂エアコン分解洗浄工事
2月15日	冷凍冷蔵庫2台の修繕
2月14日	1階多目的トイレのカーテン改修工事
3月10日	101号室鴨居修繕工事

7 資料 (令和4年3月31日現在)

(1) 入所支援事業

※ () 内数字は前年度

延べ人数	不在者数	実在籍者数	在籍率
11,940	382	12,322	96.8% (97.2)

(2) 生活介護事業

※ () 内数字は前年度

所 属	入 所 (定員 40)		通 所 (定員 10)		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3月31日 在園人数	18(19)	16(15)	5(6)	3(3)	23(25)	19(18)
	34(34)		8(9)		42(43)	
延べ利用人数	11,940 / 12,322		1,067 / 1,920		13,007 / 14,242	
利 用 率	96.8% (97.2)		55.5% (56.3)		91.3% (91.5)	

(3) 短期入所利用者状況

※ () 内数字は前年度

月	区分 6		区分 5		区分 4		区分 3		区分 2		計	
	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数
4月	2	39	1	8			2	24			5	71
5月	2	40	1	6			3	22			6	68
6月	2	42					3	21			5	63
7月	2	40					3	18			5	58
8月	3	39	1	14			3	24			7	77
9月	3	26					3	22			6	48
10月	3	37			2	6	3	31			8	74
11月	3	42			2	9	3	24			8	75
12月	2	12	2	17			3	19			7	48
1月	2	17	2	7			2	19			6	43
2月	1	7	1	10	1	3	2	13			5	33
3月	2	14	1	10			2	41			5	65
計	27	355	9	72	5	18	32	278			73(61)	723(649)

(4) 年齢層

※ () 内数字は前年度

年代	入 所		通 所		合 計			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	1	2	0	2	1	3	7.1
30代	1	0	1	1	2	1	3	7.1
40代	0	2	0	0	0	2	2	4.7
50代	7	5	1	2	8	7	15	35.7
60代	6	7	1	0	7	7	14	33.3
70代	4	1	0	0	4	1	5	11.9
80代	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	16	5	3	23	19	42	
平均年齢	61.61	56.81	40.80	47.33	57.04	55.31	56.26	

(61.9) (55.4) (44.4) (46.3) (65.5) (53.2) (55.6)

(5) 主たる障害部位

	入 所		通 所		合 計			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
上 肢	1	0	0	0	1	0	1	2.3
下 肢	1	4	1	1	2	5	7	16.7
上下肢	9	4	2	2	11	6	17	40.5
片麻痺	6	2	0	0	6	2	8	19.1
視 覚	0	0	0	0	0	0	0	0.0
聴 覚	0	3	0	0	0	3	3	7.1
平 衡	0	0	0	0	0	0	0	0.0
体 幹	1	2	1	0	2	2	4	9.5
内 部	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	1	1	0	1	1	2	4.8
計	18	16	5	3	23	19	42	

(6) 障害等級

		入 所		通 所		合 計			
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
身 障 手 帳	1	6	5	1	2	7	7	14	26.9
	2	11	7	3	1	14	8	22	42.3
	3	0	3	0	0	0	3	3	5.8
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0.0
療 育	A	2	4	2	0	4	4	8	15.4
	B	3	2	0	0	3	2	5	9.6
精神保健		0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		22	21	6	3	28	24	52	

(7) 障害支援区分

区 分	入 所		通 所		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3	1	2	1	0	2	2
4	4	3	0	1	4	4
5	9	9	1	1	10	10
6	4	2	3	1	7	3
計	18	16	5	3	23	19

(R2年度平均 4.72 R3年度平均 4.86)

(5) 在園年数

年数	入 所		通 所		合 計			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
～ 1	1	1	1	0	2	1	3	7.1
2～ 5	1	1	1	0	2	1	3	7.1
6～10	5	3	1	0	6	3	9	21.4
11～15	2	1	2	3	4	4	8	19.0
16～20	3	0	0	0	3	0	3	7.1
21～	6	10	0	0	6	10	16	38.0
計	18	16	5	3	23	19	42	
平均年数	16.9	22.5	6.2	11.0	15.3	20.7	17.7	

E 第二啓生園（就労継続支援B型事業）

この数年の間、新型コロナウイルス感染症が繰り返し拡大し、今年度についても継続した感染症予防対策の徹底を図り、安心して通所できる環境を目標に、作業時間の縮小・通所の休業に合わせた在宅支援サービスへの切り替え等、状況に合わせた対応を実施し、就労と感染予防の両立に努めました。

在宅支援サービスについては、安定した工賃の支給、就労訓練を目的とし、全利用者に在宅ワーク支援計画書を作成し、個々人の意向に沿った在宅支援の提供に努めました。

印刷班については、宮城県・仙台市など官公庁等の入札に積極的に参加しました。また、日本セルフセンターとの連絡も密に図り、受注に繋げています。

受託作業（包装作業・箱折作業）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、材料の配給停止もあり大変厳しい年となりましたが、各業者の協力もあり前年度同等の作業確保をすることができました。

オリジナル班については、前年度同様に取引先の廃業や各種イベント、お祭り等が中止となり外部で販売する機会が激減しています。

就労支援課として、日本財団・宮城県から「障害者就労支援における図書館蔵書デジタル化業務受注に係る地域拠点整備事業」の助成打診を受け、10月から拠点整備に入っています。実作業OJTを目的に長期にわたる職員の外部研修への参加、各業者との調整・発注・工事の着工、日本財団・宮城県及び各拠点施設との連携、人材確保・利用者募集と令和3年度は拠点整備に力を注いだ年となりました。

就労支援全体の収入については、新型コロナウイルス感染防止と新事業開始準備のため、在宅支援サービス実施を余儀なくされる中ではありましたが、前年度を上回る結果となり、工賃支給額は前年度より多く支給することができました。

生活支援については、ご家族や相談支援事業所・支援学校等と連携体制をとりながら継続支援をおこなってきました。長期間休まれていた利用者やご家族都合で退園される方々が多く発生した年度でもありました。

年間利用率は、83.5%（前年度91.2%）と、前年度に比べ減少しました。また、月平均利用者数については、34.2人（前年度36.5人）という状況となっています。

利用率が落ち込んだ原因として、新型コロナウイルスの園内感染を防ぐため、利用者の通所利用停止や新事業の開始準備に伴う作業場への蔵書耐火保管庫設置工事による設置工事が原因と考えています。蔵書設置耐火保管庫設置工事期間中の通所利用停止は、利用者に対する危険防止回避の観点から、やむを得ない対応をおこないました。

障がいの重度化・高齢化により、生活支援（介護支援）が必要な方々が増加しています。また、在宅生活が困難になり、他事業所へ施設移行せざるを得ない方の増加もあり、サービス管理責任者を軸に相談支援事業所・行政・地域包括等と連携し支援に努めました。

今後、就労継続支援事業所として、新規蔵書デジタル化事業の安定を目指すために、就労に特化した事業運営を目指していくことが必要と考え検討を重ねています。

衛生委員会のもと、産業医による事業所巡回やストレスチェックの実施により、職員の危険防止および健康障害の防止に努めました。

1 就労継続支援B型事業

(1) 作業支援

印刷作業では、前年度同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事の中止、広報誌の発行停止等があり、定期刊行物の受注量が激減し、大変厳しい状況でした。取引先の新規開拓、宮城県・仙台市への積極的な入札参加、官公庁への営業活動、日本セルフセンター等との連携により、受注件数および前年度の売上を上回ることができました。

受託作業（包装・箱折作業）では、材料の配給停止があり、作業が入ってこない状況が続きましたが、各業者との調整とご協力により、作業の受注に繋げることができました。

自主生産作業は、例年参加しているイベント、お祭り等の施設外販売が全て中止となり、各区役所での販売会のみ参加となっています。

施設外販売状況

実施日	販売場所・イベント名
7月1日	ふれあい製品展示販売会（若林区役所）
11月4日	ふれあい製品展示販売会（太白区役所）
12月2日	ふれあい製品展示販売会（若林区役所）

(2) 生活支援

各相談支援事業所が作成するサービス等利用計画を、サービス管理責任者が個別支援計画に反映させ、ご本人の意向、ご家族の意向を基に支援をおこないました。

また、健康面、ご家族状況などによる退園者が多く発生しており、新規利用者確保のため、宮城県と共同で新規蔵書デジタル化事業の利用者説明会、各支援学校、各関係機関と連携し共有化を図りました。

自治会代表者会議を定期的（偶数月）に開催し、意見交換を通して施設内の生活環境の改善に努めました。

(3) 健康管理

ア 各種健診の実施

実施日	実施内容	受診数
5月25日～28日	尿検査	40
6月1日～10日	体重測定	35
7月21日	生活習慣病予防健診（血液検査・心電図・聴力）	40
	（胸部レントゲン）	40
1月28日,2月1日	内科健診	36

イ 訪問マッサージ（希望者）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	7	20	13	10	9	11	9	6	5	4	4	98

ウ 給食の提供

給食業務は日清医療食品株式会社に委託しています。毎月の給食会議の中で、意見交換をしながら新型コロナウイルス感染防止を図り、利用者に喜んでいただける「安全・安心な・美味しい」食事提供に努めました。

日清医療食品株式会社の協力により外食有名店の料理の提供、行事食等四季折々の食材を取り入れた食の提供をとおり、食への楽しみを感じていただけるように努めました。

各利用者の障がいに合わせて食形態での提供と日々の給食について、嗜好調査をとおり把握に努めました。

(4) 教養娯楽・余暇支援

ア 行事等

※()内数字は前年度

実施日	行事名	参加数
6月18日	バーベキュー	利用者 25(23)・家族 0(0)
11月2日	お楽しみ会	利用者 28(21)・家族 0(0)
2月3日	節分祭り	利用者 26(21)・家族 0(0)

イ 他団体募集行事

新型コロナウイルス感染防止のため、中止又は不参加としています。

(5) サービス向上への取組み

ア 苦情・要望の受付

施設利用者からの苦情や要望について、迅速かつ適切に対応し、サービスの質の向上を図るため、平成14年度より本制度を設置しています。

[苦情受付件数] : 0件

[要望受付件数] : 0件

イ 障害者虐待(相談・通報・届出)の受付

障害者虐待防止法の施行に伴い、利用者への虐待防止と人権擁護等のため、平成24年10月より虐待防止委員会を設置しています。

[受付件数] : 0件

2 職員の資質向上

(1) 施設外研修会等

月日	研修内容	会場	参加数
5月25日	OJT指導者研修	オンライン研修	1
6月11日	仙台市社会福祉施設「新任職員研修」	仙台市福祉プラザ	2
7月21日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県管工事会館	1
8月2~4日	介護技術(実技)研修	杏友園	1

8月3日	アサーティブコミュニケーション研修	ハーネス仙台	1
8月17～19日	介護技術（実技）研修	杏友園	1
8月19日	宮城県社会福祉施設 中堅・監督職員研修	オンライン研修	1
9月9～10日	宮城県社会福祉法人・新任職員研修	オンライン研修	1
9月14日	感染拡大防止対策研修	オンライン研修	2
10月20日	会計担当職員研修	オンライン研修	1
10月20～22日	介護技術（実技）研修	杏友園	1
10月26～28日	介護技術（実技）研修	杏友園	1
11月22日	インボイス制度について	オンライン研修	1
12月1～28日	蔵書電子化作業技術研修	東京コロニー東村山	1
12月1日～ 2月28日	蔵書電子化作業技術研修	東京コロニー東村山	1
1月17～21日	デジタル事業エリアマネージャー研修	東京コロニー東村山	1
1月20日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	フォレスト仙台	1

（2）施設内研修会

月 日	研 修 内 容	参加数
5月24日	新型コロナウイルス感染防止の観点から中止	0
7月19日	救命救急研修（鶴ヶ谷消防署講師派遣）	7
9月28日	ケース記録の記載方法について	8
1月11日	デジタル事業研修	8

（3）職員会議

月 日	会 議 内 容	参加数
4月27日	・新型コロナウイルス感染防止について ・令和3年度外部研修と施設内研修及び施設行事について	11
6月23日	・利用者アセスメント実施について ・その他（施設の現状と今後の方向性） （救命救急研修について）	11
8月30日	・ウォッシュクリーンのパッケージデザイン変更について ・ケース記録について	10

3 実習生、見学者の受け入れについて

（1）実習生（支援学校等）

期 間	内 容	学校名・事業所名	実習者
5月31日～6月4日	職場実習	仙台市立鶴谷特別支援学校	1
6月6日～6月8日	職場実習	宮城県立小松島支援学校	1
6月9日～6月11日	職場実習	宮城県立小松島支援学校	1
6月15日～6月16日	職場実習	宮城県立利府支援学校	1

6月 21日～6月 23日	職場実習	宮城県立小松島支援学校	1
6月 29日～7月 1日	職場実習	宮城県立小松島支援学校	1
7月 6日～7月 10日	職場実習	仙台市立鶴谷特別支援学校	1
9月 6日～9月 10日	職場実習	仙台市立鶴谷特別支援学校	1

(2) 見学者

月 日	団 体 名	人数
6月 4日	ハンズ宮城野	2
6月 29日	宮城県立船岡支援学校	4
9月 17日	仙台市立鶴谷特別支援学校	2
1月 26日	宮城県立小松島支援学校	2

4 安全管理と防災対策

消防用設備は、年2回の保守点検の他に、職員による自主点検を毎月実施しました。
避難訓練は年2回(9月・3月)、緊急放送設備や避難誘導の手順の確認をしながら、利用者及び職員の意識の向上に努めました。

5 施設保全 修理・工事

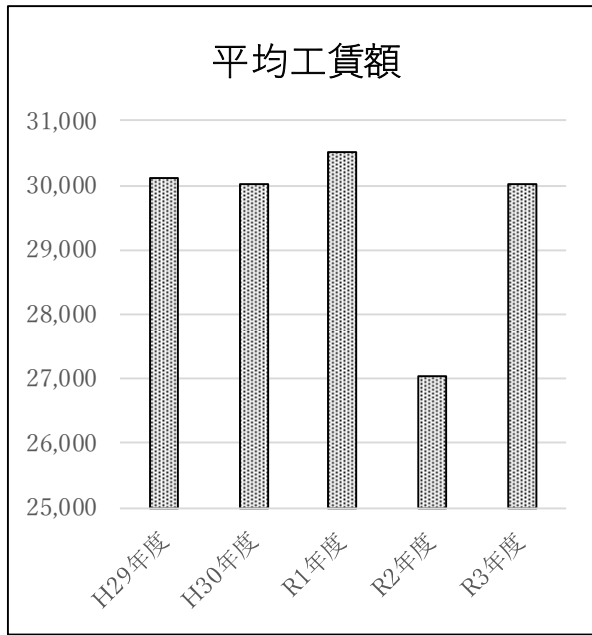
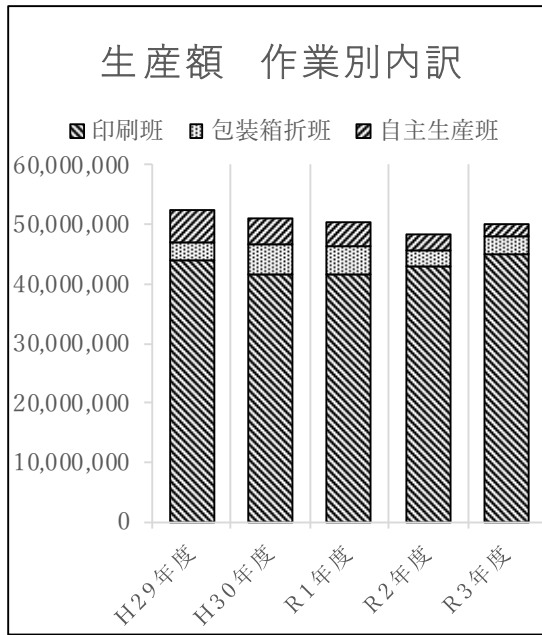
新事業開始に伴い、電気工事や耐火保管庫設置工事及びブックスキャナーとPC設置工事を実施しました。

資料1

(1) 就労支援事業

(単位：円)

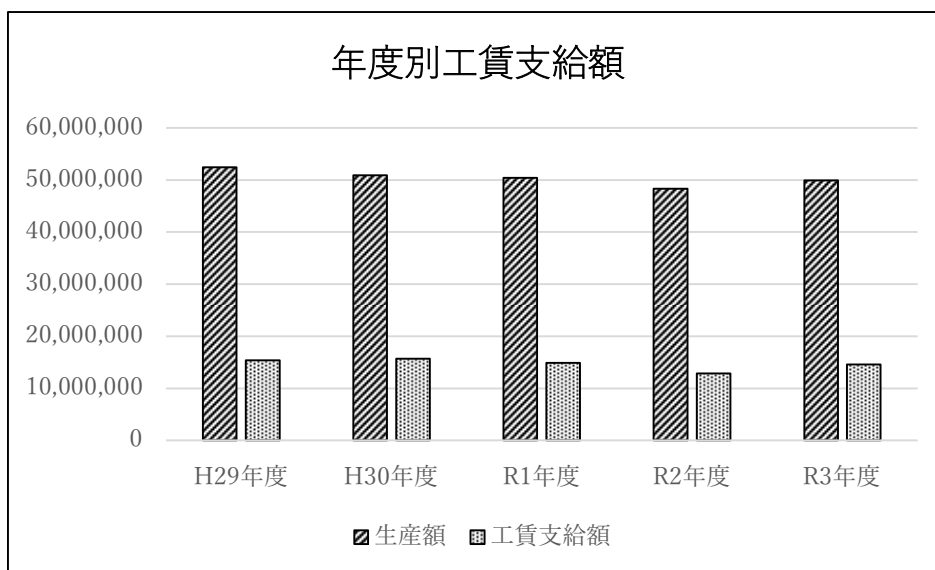
	令和3年度	令和2年度	増減比較
生産額			
印刷作業	44,986,808	43,080,919	1,905,889
包装・箱折作業	2,966,823	2,445,766	521,057
自主生産作業	1,931,916	2,763,236	△831,320
計	49,885,547	48,289,921	1,595,626
工賃支給総額	14,593,194	12,886,650	1,706,554
平均工賃額	30,010	27,039	2,971



(2) 月別工賃支給状況

(単位：円)

月	工賃支給額		平均工賃額	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
4月	1,090,955	946,422	26,608	25,254
5月	1,022,593	910,210	26,015	22,755
6月	1,165,793	771,708	28,433	19,292
7月	1,275,670	989,937	31,113	24,748
8月	1,178,576	897,810	28,745	22,345
9月	1,073,270	1,214,976	26,177	29,633
10月	1,102,145	1,223,743	26,881	29,847
11月	1,103,859	1,215,745	27,596	30,393
12月	1,057,109	1,410,428	26,427	35,260
1月	924,036	1,298,843	23,693	33,303
2月	906,753	835,323	22,668	21,418
3月	2,690,163	1,171,505	68,081	30,038
工賃支給総額	14,590,922	12,886,650		
平均額	1,215,910	1,073,887	30,006	27,039



資料2 (令和4年3月31日現在)

(1) 利用者状況

※()内数字は前年度

定員 40 名	3 月 31 日在園人数		延べ利用人数	利 用 率
男 性	24(23)	39(39)	8,217/9,840	83.5%
女 性	15(16)		(8,742/9,558)	(91.4%)

(2) 入退所状況

※()内数字は前年度

	月初在籍者(男・女)	入所	退所	退所事由
4 月	41(25・16)	0	0	
5 月	41(25・16)	0	0	
6 月	41(25・16)	0	0	
7 月	41(25・16)	0	0	
8 月	41(25・16)	0	0	
9 月	41(25・16)	0	0	
10 月	41(25・16)	0	0	
11 月	41(25・16)	0	0	
12 月	41(25・16)	0	0	
1 月	40(25・15)	0	1	施設移行
2 月	40(25・15)	0	0	
3 月	39(24・15)	0	1	家事都合
計		0(1)	2(2)	

(3) 年齢層

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	(平均値)	(中央値)
男性	2	4	2	4	8	2	2	24	45.6	50.0
女性	0	3	0	0	5	7	0	15	52.1	55.0
計	2	7	2	4	13	9	2	39	48.1	55.0
%	5.1%	17.9%	5.1%	10.2%	33.3%	23.0%	5.1%			

(4) 障害別

障害名	男性	女性	計
脳性麻痺	9	6	15
脳血管障害	2	1	3
筋ジストニア	0	1	1
頭部外傷後遺症	1	0	1
全ろう	1	1	2
その他	11	6	17
計	24	15	39

(5) 主たる障害部位

部位	上肢	下肢	上下肢	片麻痺	視覚	聴覚	平衡	体幹	内部	その他	計
男性	1	2	10	3	0	2	0	1	1	0	20
女性	1	2	6	4	0	2	0	0	0	0	15
計	2	4	16	7	0	4	0	1	1	0	35
%	5.7%	11.4%	45.7%	20.0%	0.0%	11.4%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	

(6) 障害等級

	身体障害者手帳						療育手帳		保健福祉手帳	
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級
男性	2	12	2	1	1	0	3	8	0	0
女性	4	5	2	1	1	0	2	3	0	0
計	6	17	4	2	2	0	5	11	0	0

(7) 障害支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	1	2	4	7	1	0	15
女性	1	5	0	0	3	1	10
計	2	7	4	7	4	1	25

(平均 3.28)

(8) 在園年数

年数	0～1	1～5	6～10	11～15	16～20	21～	計	(平均值)	(中央値)
男性	4	3	1	3	1	12	24	17.4	19.5
女性	1	3	0	2	0	9	15	19.2	23.0
計	5	6	1	5	1	21	39	18.1	22.0
%	12.8%	15.3%	2.5%	12.8%	2.5%	53.8%			

F 宮城県障害者福祉センター（指定管理施設）

福祉センターは昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大抑制のため、宮城県の指示より、4月1日から5月11日までおよび8月27日から9月12日まで施設の利用が休止となりました。また、8月20日から8月26日および9月13日から9月30日まで閉館時間を繰り上げ、開館時間の短縮をおこないました。

各種教室や出前教室では中止や延期などもありましたが、2大イベントである「ダンスパラダイス」や「センター文化幸（センターまつり代替事業）」は参加者の安全を第一に考え、感染防止対策を徹底した上で実施しました。特に、出前教室は東京2020パラリンピックの影響もあり、ボッチャの体験にニーズの高まりが見られ、さらには、文化・スポーツ両面にわたる幅広いプログラムに需要も多く、子どもたちからシニアまで、そして地域の方々へも楽しい活動をとおしてユニバーサルな利用施設である福祉センターの特色を周知できる好機に繋がりました。

宮城県による施設整備工事も昨年度に引き続き進められ、関係機関のご協力のもと、受変電設備更新工事と電話交換機改修工事が完了しました。

1 事業実施報告

(1) 相談事業

障がいのある方々やそのご家族からの電話によるご相談、来所によるご相談に対し、適切な情報の提供をおこなうなどの助言にあたるとともに、必要に応じて、県内の福祉関係機関と連携を密にしながら組織的対応で支援しました。即、解決の見通しがきかないご相談に対しても傾聴に努め、安心して相談ができる場を提供しました。

ア 相談件数 ※（ ）内数字は前年度

電話相談	来所相談	訪問相談	合計
28(34)件	5(10)件	1(0)件	34(44)件

イ 相談内容一覧

障害種別	相談内容							計
	職業	教育	生活	医療	福祉	訓練	その他	
肢体不自由	0(0)	0(0)	6(10)	0(0)	3(3)	1(0)	1(0)	11(13)
視覚障害	2(0)	0(0)	1(3)	0(0)	0(0)	0(2)	0(1)	3(6)
聴覚障害	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
知的障害	0(2)	0(0)	7(3)	0(0)	0(10)	0(0)	0(0)	7(15)
精神障害	0(0)	0(0)	3(4)	0(0)	1(4)	4(0)	2(0)	10(8)
その他	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(2)	3(2)
計	2(2)	0(0)	19(20)	0(0)	4(17)	5(2)	4(3)	34(44)

(2) 研修事業

地域および関係機関との連携を強化し、障がい者福祉関係者の研鑽の場を提供しました。

ア 障がい者福祉関係施設等職員研修会

宮城県内の障がい者福祉関係の施設や事業所職員、団体職員などを対象に、職員の資質向上を目的にした研鑽の場を提供しました。今年度は昨年度の第二弾ということで、ソーシャルキャピタルの視座についての学びと、“障害を理由とする差別を解消し障害のある人もない人も共生する社会づくり条例”に基づいた各事業所の取り組みなどについてグループディスカッションを交えながらの研修会を開催しました。 ※（ ）内数字は前年度

開催日 会場	参加 人数	内 容
6月23日(水) 館内	9(19)	「県内で施行された“障害を理由とする差別を解消し障害のある人もない人も共生する社会づくり条例”に基づき、各事業で今後取り組みたい活動について」 講師：宮城県障がい者福祉協会 常務理事 末田 耕司 氏

イ 当事者及び家族に対する研修会

福祉サービスや暮らしに関する法律、制度や気になる話題をテーマに取り上げ、気軽に参加できる研修会の開催を目指しました。今年度は介護保険サービスに着目し、申請からサービス利用に至るまで、介護保険制度について学びました。 ※（ ）内数字は前年度

開催日 会場	参加人数 障害種別	内 容
11月27日(土) 館内	24(22) ・聴覚障害5 ・精神障害2 ・肢体不自由5 ・内部障害1 ・一般7 ・要約筆記2 ・手話通訳2	「～自分のため、家族のための介護保険～介護保険サービスについて学ぼう」「介護予防運動の実践」 講師：小松島地域包括支援センター 保健師 細谷 和美 氏

ウ ボランティア養成に関する研修

開催日 会場	参加人数	内 容
2月19日(土) 館内	新型コロナウイルス感染拡大により中止	ボランティア養成講座「手話言語ってなあに？」 講師：一般社団法人 宮城県聴覚障害者協会

エ 館内研修・外部要請研修（社員研修・施設見学等）の受け入れ

個人・団体問わず、宿泊利用や日中活動等の施設利用のための見学も随時受け入れました。

開催日	参加人数	内 容
9月6日(月)	5	社会福祉基礎実習の一環として、宿泊室や訓練室等のセンター館内設備の説明

(3) 日常生活支援事業

ア チャレンジトレーニング

障がいのある方が、身体機能の維持、日常生活並びに学習活動の訓練等を通して、自己の課題を可能な限り克服し、地域社会のなかで主体的に種々の社会活動に参加できるようになることを目指して実施しました。

訓練種別	対象	回数	内 容
日常生活訓練	女性 40 代 肢体不自由	13 回	施設見学・パソコン作業・アンガーマネジメントワークシートへの取組み
フォローアップ訓練	女性 50 代 肢体不自由	3 回	困りごとへの対応・ケア会議参加など
日常生活訓練	女性 50 代 肢体不自由	4 回	着脱し易い車椅子用ひざ掛けの制作 (裁縫、ミシン作業)

イ チャレンジプログラム「チャンスの種まき」

障がいのある方が、自分の興味・関心に応じたコースを選択し、講師や仲間との交流をとおして、自由により楽しく活動に取り組める環境を提供し、可能な限りの自己実現を支援しました。

新型コロナウイルス対策として参加人数の制限やコースによっては教室を分散させて開催しました。

種まきコース

※（ ）内数字は前年度

教室名	開催日	参加人数 障害種別	内容・講師（支援協力者）
「書」教室	8月22日 9月19日 10月 3日 11月13日 4(4)回	45(27) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般	四季からイメージされる文字をテーマとした書道 書き上げた作品から講師が作品を選定し、カレンダーを作成 講師：大塚 耕志郎 氏

<p>「輝けプラチナ 世代！ミュージズ」 ※新規開催</p>	<p>8月 6日 11月 5日 12月17日 1月21日 4回 ※1回中止</p>	<p>38 ・発声障害 ・肢体不自由 ・精神障害 ・家族 ・一般</p>	<p>8月「ネイル教室」 講師：日本保健福祉ネイリスト協会 辻奈美 氏、小磯麻有 氏 11月・12月「アロマ教室」 講師：日本アロマ環境協会 伊藤久美 氏 1月「メイク教室」 講師：資生堂ジャパン 佐藤真理子 氏</p>
<p>「手仕事サロン ひだまり」</p>	<p>5～3月 10(10)回</p>	<p>120(137) ・知的障害 ・聴覚障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・一般</p>	<p>5月～1月「各自の作業、主にズボンや バッグの制作」 3月「草履」 講師：ユニバーサル ファッション工房 繕 佐藤萬里子 氏</p>

育みコース

教室名	開催状況	参加人数 障害種別	内容・講師（支援協力者）
<p>「クワイアチャイ ム音楽ひろば」</p>	<p>6～1月 6(6) 回 ※1回中止</p>	<p>72(66) ・肢体不自由 ・知的障害 ・家族 ・一般</p>	<p>「楽曲練習」 指導：福祉センター職員</p>
<p>「わくわく ダンス」</p>	<p>6～1月 5(7)回 ※3回中止</p>	<p>121(148) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・一般</p>	<p>「自己表現を大切に、曲にのって自由 にダンスを踊る」 講師：すんぷちよ 及川多香子氏、太田直史氏</p>
<p>絵画サロン 「アトリエ」</p>	<p>8月～1月 6(14)回 ※2回中止</p>	<p>40(73) ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般</p>	<p>自由に絵を描き、楽しむこと を主眼において開催</p>

(4) カルスポ (カルチャー・スポーツ)・交流事業

定員の削減、3密対策、消毒の徹底等の新型コロナウイルス感染防止対策をおこな
いながら、各種教室等を開催しました。

ア スポーツ体験ひろば

※ () 内数字は前年度

事業名	日時	参加人数 障害種別	内容
「eスポーツ体験教室」 (宮城県障害者総合体育 センターと共催)	7月25日 10月24日 11月14日 3(3)回	60(13) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族	電子機器を使用しての対戦型のス ポーツ競技の体験 協力：仙台eスポーツ協会
	【大会参加状況】 「第10回はびぶれ杯 障がい者日本選手権」 開催日：12月18日 参加者：1 結果：優勝 「第4回大阪障がい者eスポーツ大会”アワハウスカップ”」 開催日：1月30日 参加者：1 結果：優勝 「第2回愛顔eスポーツ大会 個人の部」 開催日：3月5日 参加者：1 結果：ベスト32		
パラスポ体験・PR教室	パラ自転車体験会 10月16日 (雨天のため中止)		

イ 体感ワークショップ「まっしろカフェ」

令和4年2月に開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。

ウ センター文化祭(愛称：センター文化「幸」～GoTo 幸町～)

当センターの利用団体の日頃の取り組みや学びの成果の発表および交流の場と
して開催しました。

開催日 会場	参加 人数	内容
12月12日(日) 館内	69	【ステージ発表】 「オカリナ演奏」 出演：カーリーナ 「落語」 出演：青葉亭雅 「マリンバ&ピアノ演奏」 出演：高橋 直樹 氏 高橋 美智子 氏 【体験ブース】 ペーパークラフトの作成、点字ペーパークラフトの実演 ネイル体験*、マスクチャーム作り*、eスポーツ体験* 【作品展示】※出品団体 書楽、NPO 法人ぞうさんの家、ファミリーにこにこクラブ ぼーだれすアートくらぶ、ひだまり*、アトリエ*

*センター主催教室

エ わくわくダンス☆パラダイス

開催日	参加人数 障害種別	内 容
11月23日(祝)	47 ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・ボランティア	・ウォーミングアップ ・ステージでのディスコショータイム (ディスココンテスト) ・各賞表彰

オ 趣味の教室

障がいのある方が、創造の喜びを味わうとともに仲間づくりを図り、日常生活に潤いと変化を持ちながら、社会参加への足がかりとすることができるよう教室を開催しました。

※（ ）内数字は前年度

教室名	開催日・日数	参加延べ人数 障害種別	講師・指導協力者等
クッキング	10月 9日(土) 11月 6日(土) 1月15日(土) 3(3)日 ※1回中止	38(33) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	10月「こどもクッキング教室」 11月「今更聞けない基本の和食」 1月「お正月の定番 紅白なますの大変身」 料理教室「七ツ森」 浅野 ゆか 氏
陶芸	3月13日(日) 3月27日(日) 2(3)日	20(36) ・発声障害 ・知的障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	ギャラリー石神窯 窯元 大場 拓俊 氏
フラワーアレンジメント & 盆点前	8月 1日(日) 10月17日(日) 12月18日(日) 3(4)日 ※1回中止	31(29) ・肢体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般	MOA美術文化芸術財団 インストラクター 三浦 ひとみ 氏

手作りひろば	5月23日(日) 7月31日(土) 9月25日(土) 3(3)日	42(36) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	5月「マスクチャーム」 7月「ペンスタンド」 9月「コサージュ」 啓生園 石井 喜子 氏
	11月16日(火) ～21日(日) 6日間	2021宮城レザー杜の会へ作品出展	
			合計 延べ 131(171)

(5) 広報・啓発事業

ノーマライゼーションの実現を図るには、社会を構成する全ての人々が障がい及び障がいのある方に対して正しく理解をし、配慮していくことが大切であるという認識のもとに、広報・啓発活動に努めました。

ア ホームページによる情報提供

事業予定や内容の紹介や参加者募集の呼びかけ等をおこないました。

なお、予約における空き状況の照会や各事業の参加申し込みや問い合わせにはメールでも対応できるようにしました。

*ホームページ更新 20回

宮城県障害者福祉センター ホームページ アドレス

<https://miyasyoufuku.com/>

代表メールアドレス

miyasyoufuku@gmail.com

イ 県内外の福祉情報の提供および定期刊行物や読み物の閲覧

福祉情勢の動向や県内外の福祉情報を提供するために、定期刊行物や読み物を閲覧できるようにしました。

ウ 機関紙「杜の風」の発行 1,200部発行

エ 事業広報・利用促進チラシの配布

オ 施設PRプログラム

より多くの方々に有効に当施設を活用していただくことを目指し、施設の貸し出しや事業紹介を周知、PRを図りました。

実施日	参加人数	内 容
5月21日(金)	35	令和3年度特別支援学校初任者研修(2年目) 専門研修
2月6日(日)	50	第4回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいてみてしって見本市」での施設PR 会場発表及びオンライン

(6) 施設の便宜提供

ア 年間施設利用状況

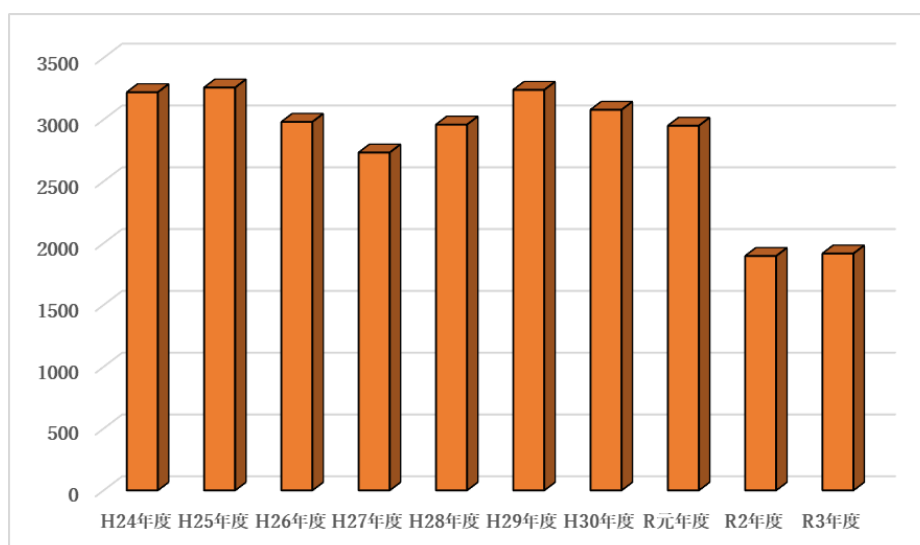
障がいのある方とご家族やボランティア、そして、福祉関係者ならびに一般の方々が開催する研修、会議、交流の場として、会議室等の部屋及び設備の便宜を提供しました。(令和元年度より利用人数の集計方法を変更しました。)

※貸館、宿泊の利用に際しては、各室使用人数の制限を設けました。

(本来の定員の50%)

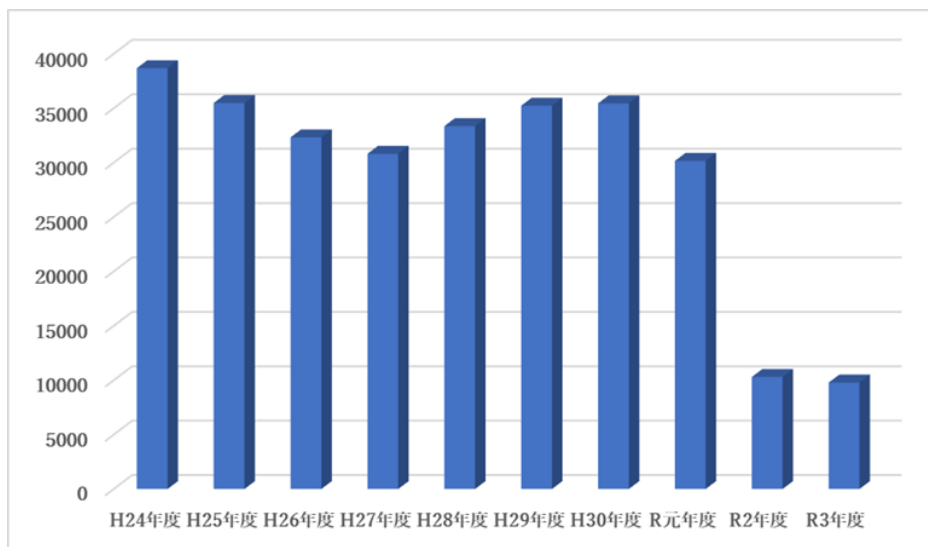
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数(人)	30,159	10,297	9,881
利用件数(件)	2,950	1,896	1,917

利用件数(件) 過去10年比較



年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
利用件数(件)	3,221	3,259	2,981	2,733	2,959	3,240	3,079	2,950	1,896	1,917

利用人数（人） 過去10年比較



年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
利用人数（人）	38,678	35,477	32,320	30,806	33,349	35,228	35,442	30,159	10,297	9,881

イ 館外事業参加者延べ人数（福祉センター館外で行った事業）

館外で開催した出前教室、パラスポ体験・PR教室	合計 29件 786人
-------------------------	-------------

2 利用者サービス

福祉センターの適切かつ効率的な運営並びに利用者サービスの向上を図ることを目的として、次の取り組みをおこない、利用者及び関係者の意見・要望等を把握し、福祉センターの運営に反映しました。

(1) 利用者サービスの向上に向けた取り組み

ア 運営推進委員会の開催

各種障がい者団体及び隣接関連施設の代表で委員会を組織し、当福祉センターの当面する諸問題や相互の連携及び関係する問題についての具体的事項の検討や利用事業の調整を図ることを目的に開催しました。

・会 場：宮城県障害者福祉センター 時 間：15：00～16：00

開催日	内 容	参加人数
中止	令和2年度利用実績報告・事業報告各委員団体の事業計画を書面にて報告	

10月21日(木)	令和3年度上半期実績報告 事業報告・センター事業への要望・ その他要望	9団体 13人 手話通訳2人
		延べ15人

イ 利用者懇談会の開催

福祉センターの各利用者団体からの声をいただく機会を設け、その中で寄せられた多様なご意見を今後の事業運営に反映させていただく目的として予定しましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止し、アンケートによる意見・要望の集約をおこないません。

事業名	月 日	内 容
利用者懇談会	中止	懇談会の中止に伴い、利用団体アンケートを実施 (85 団体配布中 63 団体回収 回収率 74%)

ウ 苦情委員会の設置

当福祉センター利用に関する利用者の方々からの苦情等について迅速かつ適切に対応し、サービスの向上を高めるため、平成 14 年度から本制度を設置しています。

受付件数 0 件 (前年度 0 件)

エ 虐待防止委員会の設置

障害者虐待防止法の施行にともない、障がい者への虐待等についての迅速な対応およびその防止について啓発に努めるため、平成 24 年度 10 月より設置しています。

受付件数 0 件 (前年度 0 件)

(2) 利用者のニーズの把握

ア 意見箱の設置

利用者から、センターの運営についてもっと気軽にご意見をお寄せいただけるように、ご意見の投書箱「ケヤッキーあのね」ポストを設置しています。

受付件数 0 件

イ 利用者アンケート (上記以外の方法で受付：口頭・電話・相談)

受付件数 合計 0 件 (解決 0 件) (利用報告書・電話・書面)

3 自主事業

福祉センター事業の効果的促進を図るため、センター独自の事業を実施しました。

(1) 出前教室

余暇活動の提案や当事者活動の有意義なプログラムの提供を目指し、当センター人気教室「趣味の教室」等を出前形式で実施しながら、各地域の障がいのある方々との交流を通して、寄せられるニーズや課題等を掘り起こし、今後の事業へ反映しました。

実施日	会場（館内・館外）	出前教室内容 （出前提供団体）	人数
6月9日 （水）	仙台市障害者総合支援センター	クワイアチャイム （アイサポート仙台）	21
6月26日 （土）	東松島市大曲市民センター	ボッチャ （アドベンチャークラブ）	14
6月27日 （日）	山の寺集会所	療法的音楽活動「雷神」 （山の寺地区社会福祉協議会）	26
6月30日 （水）	大崎市中央公民館	スティックボール （manaby古川）	9
7月7日 （水）	放課後等デイサービス アスノバ	ボッチャ （放課後等デイサービスアスノバ）	15
7月14日 （水）	木町通市民センター	ボッチャ （木町通市民センター）	42
7月21日 （水）	木町通市民センター	ボッチャ、ユニバーサルデザインの紹介 （木町通市民センター）	32
7月26日 （月）	ハッピーテラス石巻教室	クワイアチャイム （ハッピーテラス石巻教室）	15
7月28日 （水）	多機能サポートランド さわおとの森	ボッチャ （多機能サポートランドさわおとの森）	22
8月5日 （木）	アスノバナないろの里	ボッチャ （アスノバナないろの里）	10
8月6日 （金）	館内	施設見学・説明 （登米市社会福祉協議会豊里支所）	8
8月13日 （金）	放課後等デイサービス アスノバ	卓球バレー （放課後等デイサービスアスノバ）	13
8月19日 （木）	登米市迫体育館	ボッチャ・卓球バレー （登米市社会福祉協議会）	39
10月1日 （金）	登米市立中田中学校	ボッチャ・卓球バレー （登米市立中田中学校3学年）	34
10月7日 （木）	鶴ヶ谷市民センター	フラワーアレンジメント （鶴ヶ谷市民センター）	18
10月15日 （金）	山の寺集会所	マリンバコンサート （山の寺地区社会福祉協議会）	58

10月27日 (水)	利府町勤労ホーム	ボッチャ (利府町身体障がい者福祉協会)	26
10月28日 (木)	館内	スティックボール (宮城県立小松島支援学校松陵校中学部)	13
10月29日 (金)	宮城社会福祉センター	ボッチャ (宮城社会福祉センター)	17
11月5日 (金)	放課後等デイサービス アスノバ	クワイアチャイム (放課後等デイサービスアスノバ)	15
11月8日 (月)	栗原市立栗原西中学校	手話体験・ボッチャ (栗原市立栗原西中学校2学年)	51
11月29日 (月)	仙台市立原町小学校	聴覚障害について (仙台市立原町小学校4学年)	103
12月3日 (金)	仙台市福祉プラザ	クワイアチャイム (仙台市視覚障害者福祉協会女性部)	12
12月4日 (土)	岩沼市総合福祉センター	フラワーアレンジメント (岩沼市身体障害者福祉協会文化部趣味の会)	8
12月5日 (日)	イトーヨーカドー 石巻あけぼの店	ボッチャ (石巻市女川町自立支援協議会理解促進部会)	40
12月14日 (火)	郡山コミュニティ センター	クワイアチャイム (にこにこサロン郡山)	23
12月17日 (金)	利府町文化交流センター	ボッチャ (宮城県身体障害者仙台地方連絡協議会)	32
12月18日 (土)	色麻町農村環境改善 センター	マリンバ・ピアノコンサート (色麻町社会福祉協議会)	16
12月20日 (月)	宮城県金成支援学校	クワイアチャイム (宮城県金成支援学校)	45
1月21日 (金)	登米市東郷小学校	視覚障害者体験 (登米市東郷小学校4学年)	30
合計			30回 延べ807 (14回766)

(2) ロビーパフォーマンス「スポットライトひろば」

当センターの利用団体や教室関係者の活動発表の場として、作品の展示をおこないました。

期間	内容	利用団体等
4月～10月	陶人形、絵画	後藤 健次氏 (R2アトリエ協力者)
6月～ 3月	小物入れ、コサージュ等	石井 喜子氏 (センター教室講師)
9月～ 3月	ペーパークラフト	クレマチス
12月	陶芸	ファミリーにこにこクラブ
12月	絵画、陶芸、工作等	NPO法人ぞうさんの家
12月	絵画、ぬいぐるみ等	ぼーだれすアートくらぶ

1月～ 3月	書道作品	書楽
1月～ 3月	絵画	アトリエ（センター教室）参加者

4 環境配慮の取組

宮城県の「わが社のe行動（eco do!）宣言に基づき、「環境配慮実践事業者」として（登録日令和3年5月14日完了）年間を通して積極的に環境に配慮した取り組みをおこないました。

(1) 物品等の調達にあたっての配慮

エコマークやリサイクルなどの環境ラベルのある商品・物品を調達に努めました。

(2) 省エネルギー対策

不要な照明のスイッチをこまめに消したり、階段の積極的な利用促進を図りました。

(3) 自動車燃料使用量の削減

無駄なアイドリングをなくし、エコドライブに努めました。

(4) 省資源対策

使用済み用紙の裏面活用や印刷時の用紙の節約等に留意しました。また、水洗トイレ用擬似音発生器を設置し、節水に努めました。

(5) 廃棄物の減量化・リサイクルの促進

紙、金属片、ガラスびん、プラスチック、電池等の分別の徹底、生ゴミ処理機の導入を図り、宿泊時、利用時に出た生ゴミの堆肥化を実践し、ごみのリサイクルに努めました。

5 障害者就労施設等からの物品等の優先調達

宮城県内の障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るため、その行動実践に努めました。

(1) 障害者就労施設等からの提供可能な物品の情報については、年間を通し情報収集に努め、その情報を参考に物品等の調達を推進しました。

購入項目（品物・役務）	調達の対象となる障がい者就労施設等	金額（円）
非常食パン缶20個	就労継続支援B型事業所	10,800
クリーニング	重度障害者多数雇用事業所	20,504
広報誌印刷代	就労継続支援B型事業所	167,376
PRチラシの作成	就労継続支援B型事業所	45,100
年賀状の作成	就労継続支援B型事業所	10,440
ホームページ年間保守料	就労継続支援B型事業所	26,400
センター文化幸 花束	就労継続支援B型事業所	9,000
わくわくダンスパラダイス 昼食	就労継続支援B型事業所	8,500
	合 計	298,120円

6 地域公益事業

県内各地の障がい福祉関係施設や団体、小グループ等へ福祉センターの出前教室やキャップハンディなどの福祉啓発活動、およびレクリエーションプログラムの実施要請

に対し、福祉センターの職員や事業に携わっていただいている講師を派遣し、出前教室・キャップハンディプログラムの実施など、それぞれの地域や団体の活動が活性化されるように事業推進を図りました。

7 職員の資質向上（研修参加状況）

事業推進能力を高める知識・技能の習得を目指し外部研修の機会を活用しました。

月 日	研 修 内 容	参加人数
6月 11日（金）	リーダーのためのコーチング研修（オンライン）	1
6月 27日（日）	卓球バレー指導者養成講習会	2
8月 27日（金）	甲種防火管理講習会	1
8月 28日（土）	甲種防火管理講習会	1
9月 15日（水）	福祉教育学習会（オンライン）	1
10月 23日（土） ～31日（日）	アーチル基礎講座（オンライン）	4
2月 1日（火）	クレーム対応研修（オンライン）	1
3月 5日（土）	障害のある人を支援する防災研修会（オンライン）	1
3月 19日（土）	心のバリアフリー研修会（オンライン）	1

8 安全管理及び防災対策

施設利用をされる方々が、安全に安心して利用できるよう、日頃からの日常点検・施設設備点検・職員の防災意識向上を図りました。

特に、東日本大震災での教訓を生かし、近隣施設等との連携強化、情報の提供等に努めました。

(1) 避難訓練	第1回 10月4日・第2回 3月23日
(2) 消防設備点検	第1回 7月30日・第2回 3月23日
(3) 施設内外日常点検	随 時
(4) 災害用非常食・救急用品の備蓄	随 時
(5) 防災対策・交通安全の研修会	随 時

9 施設・設備の保全

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃からの職員による点検をおこなうとともに、施設の安全に配慮し、保守点検、修繕をおこないました。

1	照明器具の交換工事	
2	屋上冷却塔補給水管修繕	
3	冷却水ポンプベアリング交換工事	
4	受水槽定水位弁交換修繕	
5	機械室貯湯槽エア抜弁取替工事	
6	高精度液面計取付け工事	※消防署により指摘事項に対しての改善措置
7	電話交換機改修工事	※宮城県の施設整備事業

G オアシス（特定相談支援事業）

新型コロナウイルス感染の収束が見えない社会状況の中、令和3年度オアシス事業の実施について、基本事業の一つである計画相談支援では、各障害者支援施設及び各サービス提供事業者等からの支援配慮により、滞りなくおこなうことができました。

モニタリングを通じて特徴的だったのは、前年度同様、施設生活者においては、他の障害者支援施設や医療施設への転居希望、在宅生活者においては、生活介護や居宅介護サービス利用回数の増量希望があり、引き続き関係機関等と調整を図っているところです。

基本相談支援については、単身生活を送っている障がい者の方自身やその親族の方から、当事者の今後の生活に向けた相談が寄せられ、特にその中でも「65歳での介護保険サービスへの切り替え」や「障害者支援施設への入居をどうしたら良いか」という相談が多くあり、サービスの利用等について丁寧な説明を心掛けました。

なお、3月16日深夜に発生した震度6強の地震ですが、担当している在宅の障がい者の方の安否確認について、地震発生直後2時間以内で確認を取ることができ、また全員に怪我等がなかったことに安堵しましたが、重度障がい者の方の「個別避難計画」が、令和3年度の法改正以降、当該各市町村で現在どうなっているか、オアシスで内容の確認をしていなかったことを反省するとともに、その必要性をあらためて痛感し、今後、各市町村の状況を把握します。

1 計画相談支援事業

(1) 施設別契約者数 (単位：人)

ふぼう	杏友園	啓生園	在宅者			計
			第二啓生園	他事業所	その他	
52(54)	41(41)	20(21)	7(7)	4(3)		124(126)

※()内は前年度実績

(2) 施設別及び月別での新規契約者数 (単位：人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在宅者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月							
5月	(1)						(1)
6月	1						1
7月		1					1
8月							
9月							
10月				(1)			(1)
11月	1						1
12月			1				1
1月		2					2

2月			(1)				(1)
3月							
計	2(1)	3	1(1)	(1)			6(3)

※()内は前年度実績

(3) 施設別契約終了者数 (単位:人)

種別 終了事由	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
死 亡	2(3)	2	2				6(3)
退所による変更	1(3)	1					2(3)
そ の 他							
計	3(6)	3	2				8(6)

※()内は前年度実績

(4) 施設別及び月別でのサービス等利用計画他の作成状況

ア 新規契約締結に伴う作成分 (単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月							
5月	(1)						(1)
6月							
7月	1						1
8月							
9月							
10月				(1)			(1)
11月	1						1
12月			1				1
1月							
2月			(1)				(1)
3月							
計	2(1)		1(1)	(1)			3(3)

※()内は前年度実績

イ 受給者証の更新またはサービス内容の変更に伴う作成分 (単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月	(2)	1(2)	2				3(4)
5月	1	(2)					1(2)
6月	1(1)	1(3)	3(1)	1(1)			6(6)
7月	(1)	1(1)	(1)		1(1)		2(4)

8月		(3)	2(2)	1(1)			3(6)
9月	(3)	(1)	(1)				(5)
10月		(6)		1			1(6)
11月	1(6)	(2)		1(1)	1		3(9)
12月	1(4)	(6)	(1)				1(11)
1月	3	1(6)	(1)	1			5(7)
2月	3	(1)	(1)	1(1)	(1)		4(4)
3月	2(4)	1(2)	1(4)	1(1)	1(1)		6(12)
計	12(21)	5(35)	8(12)	7(5)	3(3)		35(76)

※()内は前年度実績

ウ 利用(サービス提供)状況確認に係るモニタリング報告書作成 (単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月	2(3)	8	(2)	1(1)			11(6)
5月	12(14)	5(3)		1(1)			18(18)
6月	18(15)	10(4)	1(3)	(1)			29(23)
7月	7(7)	7(4)	1	1(1)			16(12)
8月	2(3)	5(2)	8(5)	1			16(10)
9月	10(8)	4(1)	4(3)	2(2)	2(2)		22(16)
10月	2(5)	9(3)	1(1)	1(1)			13(10)
11月	10(6)	5(3)					15(9)
12月	17(14)	12(5)	3(3)	1(1)			33(23)
1月	4(6)	7(2)	1	(1)	1(1)		13(10)
2月	2(2)	4(3)	10(7)	1(1)			17(13)
3月	8(6)	5(2)	4(1)	1(1)	1		19(10)
計	94(89)	81(32)	33(25)	10(11)	4(3)		222(160)

※()内は前年度実績

※受給者証の更新手続きに必要な78人分のモニタリング分は除く。

エ 在宅障がい者に係る家庭訪問 (単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ回数
3		4	1(2)	1(2)	(2)	(1)	(1)	2		(1)	1(1)	12(10)

※()内は前年度実績

オ 施設利用者に係るサービス調整等更新期間外ケア会議 (単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ回数
			(1)		1(1)		(1)	(2)	2	(1)	2	5(6)

※()内は前年度実績

2 基本相談支援事業

(1) 基本相談件数

(単位:件)

種別 月	施設	在宅	計	相談に伴う自宅や 施設他の訪問回数	相談に伴う関係 機関との調整他
4月	1		1		1
5月					
6月					
7月		1	1		1
8月	(1)	(1)	(2)		(2)
9月		3	3		2
10月		(2)	(2)		(2)
11月		1	1		1
12月	1	2	3	1	3
1月	1	1	2		1
2月		1	1		
3月	(1)	1	1(1)		(1)
計	3(2)	10(3)	13(5)	1	9(5)

※()内は前年度相談件数

3 職員の資質向上

(1) 職員の資質向上等を目的とした研修

月 日	内 容 等	場 所
10月15日(金)	令和3年知的障害者福祉担当現任職員研修 ○講話及び質疑応答 演題「知的障害者に必要な支援について～学校から社会への移行期を中心に」 講師 学校法人明和学園いずみ高等支援学校 教頭 阿部和治氏	教育福祉複合施設 「まなウエルみやぎ」

(2) 関係機関との連絡調整等会議

月 日	内 容 等	場 所
10月11日(月)	令和3年度第1回仙南地域自立支援協議会相談支援部会会議 ○仙南地域における課題の抽出について ○ケース検討会	宮城県大河原合同庁舎

※他に参加申込みをしていた研修会が複数ありましたが、新型コロナウイルス感染予防のため開催が中止となりました。

公益事業

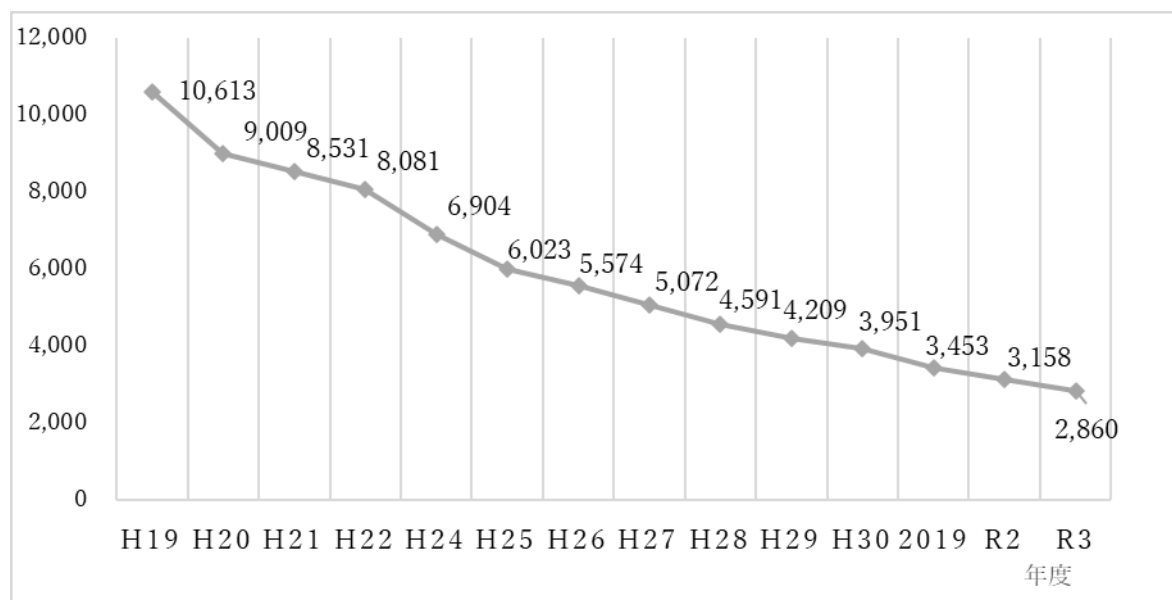
H 地域公益事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各事業とも大きな影響を受けました。

特に、市町村協会地域活動促進事業は、大人数が参集する内容のため、開催を見送る結果となってしまいました。会員交流の場として、卓球バレーの巡回体験教室を、宮城県障害者福祉センターや宮城県障害者総合体育センターと共同企画し、11月に市町村協会対抗の交流大会を開催する予定でした。各市町村協会も、会員同士の繋がりが途切れないよう、コロナ禍における活動のあり方を模索した一年となりました。

福祉運動推進事業では、新しい開催形態として、「第66回日本身体障害者福祉大会」はオンライン配信、宮城県担当の「東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議」はWEB会議でおこなわれました。「第67回宮城県社会福祉大会」は、昨年に続き規模を縮小して開催され、本法人の協会長表彰もこの大会でおこないました。

本法人の会員数の推移



*H23年度は東日本大震災のため把握困難

*H24年度も一部の市町村で把握困難

1 市町村協会地域活動促進事業

開催月日	事業名	内容
	市町村協会会議	目的：協会組織の全体会議を通して、協会および障害者福祉に関する課題と現状を理解する。併せて、会の活性化、相互協力に向けた検討をおこなう。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	市町村協会女性部会の活動支援	目的：女性部会の年度活動の支援 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	会員研修会	目的：会員を対象とした研修会を開催して、障害者福祉の情報、趣味や健康、地域で安心して生活できる方法などについて学ぶ。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	市町村協会対抗卓球バレー交流大会	目的：市町村協会対抗のスポーツ大会を通し、会員相互の交流を図る。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2 福祉運動推進事業

(1) 日本身体障害者団体連合会関係

開催月日	事業名	内容
4月8日	東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会 正・副会長会議	出席者：会長 ※WEB 会議
6月28日	第66回 日本身体障害者福祉大会	目的：社会福祉法人日本身体障害者団体連合会に所属する都道府県および政令指定都市の身体障害者に向け、令和3年(2021)年度の活動方針および障害者施策の促進や共生社会に向けた展望について認識を共有するとともに、障害者の自立と社会参加を積極的に展開、発展させ、その福祉の増進を図る。 内容：ア 講演 村木厚子 氏 (内閣官房政策参与、津田塾大学客員教授、元厚生労働省事務次官) イ ショート対談 村木厚子 氏×阿部一彦 氏(日身連会長) ウ 式典 表彰 エ 議事 令和2年度事業報告 令和3年度事業計画 大会宣言 大会決議 ※YouTube によるオンライン配信

8月4日	日身連会長表彰	大和町身体障害者福祉協会 堀田多美夫会長へ森会長から表彰状と記念品を授与した。
10月14日	東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会 団体長等会議	出席者：会長、副会長2名、常務理事、事務局長 内 容：報告1 国および日本身体障害者団体連合会の動きについて 報告2 (1)令和2年度決算についての報告 (2)令和3年度収支予算についての報告 議題 日身連に対する要望事項について 情報交換 他 ※WEB 会議
4月30日 6月3日 6月22日 8月6日 11月30日 12月16日 2月18日	正・副会長会および理事会	出席者：会長 ※WEB 会議
9月29日 12月16日 2月18日	日身連の財政の安定化に対する検討委員会	出席者：会長 ※WEB 会議
3月29日	評議員会	出席者：会長、常務理事 ※WEB 会議

(2) 第67回宮城県社会福祉大会

開催月日	事業名	内 容
11月11日	第67回宮城県社会福祉大会	内容：式典 ・宮城県知事および主催5団体長表彰の贈呈 ・本法人も協会長表彰を授与した (表彰10名、感謝状1名) 備考：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様、規模を縮小して開催された。
7月20日 9月10日 10月6日 10月29日	11月の大会開催に向けて主催団体の事前打合せ会に出席	出席者：事務局課長 内 容：役割分担、大会までのスケジュール、開催要綱、予算 他

3 啓発・広報事業

	事業名	内 容
8月 3月	広報紙「県障みやぎ」の発行 第113号 第114号	8ページ フルカラー刷り 4ページ フルカラー刷り
随時	情報公開、報告	ホームページにより最新の情報提供に努めた
市町村協会 主催事業への 出席	目的：各市町村協会主催の諸活動を支援することで、活性化および会員の団結と親睦を図る。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催なし	

<p>関係福祉団体の役員等の就任状況</p>	<p>目的：各関係福祉団体のおこなう障害者福祉推進の諸活動に積極的に参加することで、ネットワークと協力体制の構築、およびニーズ把握と共通目標の実現に努める。</p> <p>(ア)会長：日本身体障害者団体連合会以外 a 宮城県障害者施策推進協議会：委員 b 宮城県社会福祉協議会：評議員 c 宮城県共同募金会：評議員 d J D F 宮城：会長 e 東京 2020 オリンピック、パラリンピック競技大会宮城県推進会議：委員 f 宮城県社会福祉法人経営者協議会：監事 g 宮城県地域共生社会推進会議</p> <p>(イ)常務理事：日本身体障害者団体連合会以外 a 宮城県社会福祉協議会：福祉サービス利用に関する運営適正化委員会選考委員会委員 b 山元町障害者地域協議会：アドバイザー c 亘理町障害者等地域自立支援協議会：委員 d 宮城県教育庁人権教育指導者養成事業企画推進連絡会：委員</p> <p>(ウ)事務局長 a 宮城県リハビリテーション協議会：委員</p> <p>(エ)事務局課長 a 宮城県社会福祉法人経営青年会：監事 b 宮城県社会福祉協議会生活福祉資金運営委員会：委員</p>
<p>関係福祉団体の諸会議及び行事等の出席状況</p>	<p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催なし</p>

I 宮城県障害者社会参加推進センター（受託事業）

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がいの有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向け、コミュニケーション、文化、スポーツ活動など、地域生活支援事業の実施により様々な分野における社会参加の推進を図りました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による、一部事業の延期や中止など、当初の計画を変更せざるを得ない状況のなか、関係団体との連携を取りながら、実施しました。

オンラインを活用して事業に取り組む機会も増えたため、引き続き、周知をしていくことで、コロナ禍のために参加をためらう方々への支援をおこない、より多くの障がいのある方の社会参加を推進していきます。

1 宮城県障害者社会参加推進センター運営業務

(1) 宮城県障害者社会参加推進協議会の開催

県条例が施行したことを受け、関係団体との意見交換や、東京 2020 パラリンピックのレガシーを活用した共生社会づくりに向けて講習を実施しました。

開催期日	場 所	出席者	内 容
7月30日(金)	宮城県障害者福祉センター	28	宮城県障害者差別相談センターについて、その他
1月28日(金)	宮城県障害者福祉センター	25	パラリンピックのレガシーを活用した共生社会の実現について、その他

(2) 宮城県障害者社会参加推進センター出前講座

障がい理解の普及啓発を目的に、宮城県障害者社会参加推進協議会構成団体より出前講座メニューの提供をおこないました。

開催期日	場 所	出席者	内 容
4月7日(水)	大和町役場	31	大和町職員研修 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する研修」 派遣団体：宮城県障がい者福祉協会
12月7日(火)	岩沼中学校	135	福祉教育 「知的障害のある人の世界をのぞいてみよう」 「心のバリアフリーについて学ぼう」 派遣団体：宮城県手をつなぐ育成

(3) 電子媒体による情報発信

ホームページ等により、推進センター事業をはじめとした各種情報を周知しました。

(4) 宮城県障害者相談員連絡協議会の活動支援

市町村より委嘱を受けた障害者相談員の資質向上と連携を目的に活動する宮城県障害者相談員連絡協議会の事務局として事業を実施しました。

ア 総会の開催

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

イ 監事会・理事会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
監事会 4月7日(水)	宮城県障害者福祉センター	2	令和2年度監事監査
理事会 7月28日(水)	宮城県障害者福祉センター	3	下半期事業について、その他

ウ 移動研修会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
11月25日(木)	鳴子温泉 鳴子観光ホテル	26	「障がい者差別と権利擁護の考え方」 講師：いわさき生活福祉研究所 所長 岩崎 利次氏

2 地域生活支援事業の実施

(1) 障害者でんわ相談室運營業務

障がい者の権利擁護を目的に電話相談窓口を設置し専任相談員による相談対応をおこないました。

ア 年間相談件数

(単位：件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合 計
17	18	737	320	19	1,111
(23)	(19)	(768)	(403)	(6)	(1,219)

※()内数字は前年度

イ 専任相談員研修会及び意見交流会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
10月22日(金)	宮城県障害者福祉センター	8	前任・新任の相談員の引き継ぎ 令和3年度上半期の相談状況について
3月11日(金)	宮城県障害者福祉センター	9	活動時の参考図書についてのディス カッション 令和3年度の相談状況について

ウ 障害者110番事業担当者研修会への派遣

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 身体障害者・知的障害者相談員等活動強化業務

市町村より委嘱をうけた障害者相談員の資質の向上を図るため実施しました。

ア 令和3年度東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会の派遣

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 令和3年度宮城県障害者相談員研修会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
1月26日(水)	大崎合同庁舎	18	「パラリンピックのレガシーを活用した共生社会の実現」
2月3日(木)	宮城県障害者福祉センター	19	講師：東北大学大学院法学研究科教授 御手洗 潤氏

(3) 全国障害者スポーツ大会宮城県選手団（身体障害及び精神障害）派遣業務

第21回全国障害者スポーツ大会(三重とわか大会)への宮城県代表選手選考を兼ねる宮城県大会及び本大会が中止となり、代替大会等を開催しました。

ア 宮城県代表選手の個人競技（身体障害及び精神障害）選手選考会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
5月27日(木)	宮城県障害者総合体育センター	6	実技選考、面談、出場区分判定(ボッチャ)
6月9日(水)	宮城県障害者福祉センター	7	代表候補者の選出について

イ 宮城県選手団（身体障害）説明会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
8月1日(日)	宮城県障害者福祉センター	26	大会概要説明, ユニフォーム採寸

ウ 強化練習会の開催

競技名	参加者(延べ)	開催場所
陸上	24	仙台市陸上競技場
水泳	15	仙台スイミングスクール清水沼校
フライングディスク	11	仙台市陸上競技場
ボッチャ	21	美里町駅東地域交流センター 他
合 計	71	

エ 代替大会等の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
12月19日(日)	石巻市総合体育館	5	宮城県障がい者卓球交流大会(STT)
1月19日(水)	宮城県立船岡支援学校	13	令和3年度ボッチャ講習会

- (4) レクリエーション教室開催業務 ※()内数字は前回大会
余暇活動の充実と参加者間交流を目的に大会を開催しました。

ア 第9回宮城県障がい者パークゴルフ交流大会の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
10月7日(木)	SATO 開発おおひら万葉パークゴルフ場	36 (41)	18 ホール個人戦

イ 第27回宮城県障がい者ボウリング大会

開催期日	場 所	参加者	内 容
12月4日(土)	タイトーステーション仙台ベガロポリス店	35 (84)	2 ゲーム個人戦

- (5) 障害者週間推進業務（書道・写真コンテスト開催業務）

芸術文化活動の推進と、障害者週間（12/3～12/9）における啓発活動の一環として実施しました。

ア 第36回「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会の開催

応募作品数	内 容
書道 169 点 (111 点) 写真 41 点 (22 点)	<ul style="list-style-type: none"> ・入賞作品 12 点を選出し表彰をおこなった。 書道：金賞 1 点、銀賞 2 点、銅賞 3 点 写真：金賞 1 点、銀賞 2 点、銅賞 3 点 ・入賞作品を全国コンテストへ出展 書道：銅賞 2 点 写真：金賞 1 点 銀賞 1 点 銅賞 3 点

※()内数字は前年度

イ 宮城県大会応募作品展の開催

開催期日	展示場所
11月17日(水)～22日(月)	大崎市民ギャラリー緒絶の館 第4展示室
12月3日(金)～16日(木)	宮城県庁行政庁舎 2階 回廊壁面

3 包括委託契約の履行に伴う再委託

下記団体と再委託契約を締結し事業を実施しました。

<公益財団法人県視覚障害者福祉協会>

(1) 視覚障害者家庭・社会生活訓練業務

視覚障害者の日常生活上必要とされる諸能力について訓練や指導、社会生活上必要な知識や技術の習得に向けた講習や体験交流等を開催しました。

ア 視覚障害者家庭・社会生活訓練の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
5月30日(日)	多賀城市市民活動サポートセンター	22	震災体験を聞く会
10月24日(日)	多賀城市大代緑地公園	16	野外散策歩行訓練
11月24日(水)	大崎市図書館	20	音楽鑑賞と講話
11月28日(日)	塩竈市公民館	22	琴の演奏鑑賞と歩行訓練
12月15日(水)	マルホンまきあーとテラス	23	施設見学会
12月19日(日)	石巻市総合体育館	6	STT レベルアップ教室
12月21日(火)	東松島市老人福祉センター	13	協会主催 デジタル時代
1月16日(日)	大崎市図書館	17	〃
1月23日(日)	角田市市民センター	12	〃
2月5日(土)	多賀城市市民活動サポートセンター	14	〃
2月14日(月)	柴田町地域福祉センター	16	〃
2月27日(日)	塩竈市公民館	20	コロナ禍の入院体験談
2月27日(日)	塩竈市公民館	20	協会主催 デジタル時代
3月12日(土)	石巻市保健相談センター	18	〃
3月13日(日)	気仙沼市市民活動福祉センター	7	〃

(2) 中途失明者緊急生活訓練業務

中途視覚障害者等への、今後の生活に関する助言や指導、自立生活に向けた感覚訓練や点字指導等に関する相談会を開催しました。

ア 中途視覚障害者緊急相談会(地域相談会)の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
10月24日(日)	登米市迫公民館	30	医療相談、歩行訓練、デジタル機器の操作 等
11月14日(日)	栗原市文化会館 大会議室	29	

(3) 点字・声の広報等発行業務

県が発行する「みやぎ県政だより」を点訳・音訳し、視覚障害者に対して県政情報の提供をおこないました。

ア 発行部数

発行月	点字版	音声版
隔月奇数月（年6回）	198部	315部

<宮城県喉頭摘出者福祉協会立声会>

(1) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成業務

喉頭摘出者を対象とした発声訓練の開催と、発声訓練に携わる指導者の養成をおこないました。

ア 音声機能障害者発声教室の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
年60日間	宮城県障害者福祉センター他	176	食道発声訓練、人工喉頭または電気発声器による発声訓練 他

イ 音声機能障害者発声訓練指導員養成研修会への派遣

開催期日	場 所	参加者	内 容
10月15日(金) ～17日(日)	宮城県障害者福祉センター	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

<公益社団法人日本オストミー協会 宮城県支部>

(1) オストメイト社会適応訓練事業

オストメイトの社会復帰を促進するため、装具や社会生活に必要な知識の習得についての教室を開催しました。

ア オストメイト社会適応訓練教室の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
年10回	大河原町中央公民館 他	153	ストマ用装具に関すること 社会生活に関すること

<一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会>

(1) 知的障害者本人活動支援業務

知的障害者の自己の自信を確立し、仲間との交流や社会適応能力や自立心を養うため、みやぎフレンズ会の活動支援をおこないました。

ア みやぎフレンズ会Aの活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
4月18日(日)	宮城県障害者福祉センター	9	役員会
7月11日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	13	
10月31日(日)	宮城県障害者福祉センター	10	
1月23日(日)	宮城県障害者福祉センター	8	
5月下旬	※コロナ感染症拡大により贈呈のみ	—	優良勤労知的障害者表彰
6月27日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	16	総会
4月18日(日)	宮城県障害者福祉センター	6	広報委員会
7月11日(日)	宮城県障害者福祉センター	6	
9月18日(土)	多賀城市中央公民館	12	イベント
11月28日(日)	宮城県障害者福祉センター	10	
3月6日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	10	年末度交流会

イ みやぎフレンズ会B（非会員でも参加可能）の活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
7月	※コロナ感染症拡大により中止	—	スポーツレクリエーション

ウ みやぎフレンズ会A・B共通の活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
11月21日(土)	※コロナ感染症拡大により中止	—	宮城県障害者綱引き大会
12月12日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	28	イベント

エ 育成会大会への派遣

開催期日	場 所	参加者	内 容
9月18日(土) ～19日(日)	多賀城市中央公民館 ※コロナウイルス感染症拡大により、収録型配信	—	東北ブロック大会
10月	※コロナ感染症拡大により中止	—	全国大会

J 幸町ウェルフェア温水プール（補助事業）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月1日～5月11日及び8月27日～9月17日までの期間、休業を余儀なくされました。また、水漏れによる漏電と福島県沖地震（令和4年3月16日発生）による被害で3月16日、17日の二日間が営業休止となりました。休止期間は、プール内保守点検及び館内清掃をおこないません。

営業中は感染予防措置をとりながら、障がいのある方、高齢者、障がい団体のプール利用の促進に努め、水泳教室、水中ウォーキング教室、ワンポイントアドバイスなどの事業の取組みと併せ、快適に利用できるよう受け入れ体制を整えました。

日常の業務においては、水質の安全維持と設備の性能維持に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染対策も、宮城県障害者総合体育センターと連携を深めながら継続して進め、安心して利用できるプールの衛生管理に努めました。

老朽化で懸念される設備の不具合には早急に対応するとともに、快適な施設内の整備に力を入れ、受付カウンターのリニューアルや、利用者の方の目線にたち、プール棟内の施設の整備を進めました。

1 スポーツ・リハビリテーション事業

(1) 障がい者等水泳教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第一期・第二期の教室とも回数を減らしての開催となりました。第二期は、8月27日から9月17日までの緊急事態宣言により、10月から開催しました。第三期は、感染再拡大の事情により中止しました。

- ・第一期 令和3年 6月 7日（月）～ 7月31日（土）
- ・第二期 令和3年10月 1日（金）～11月 6日（土）
- ・第三期 感染再拡大の事情により中止

※（ ）内数字は前年度（単位：人）

教室名	第一期	第二期	第三期	合計
月曜日コース（豊齢者・一般女性）	34(中止)	31(83)	中止(29)	65(112)
木曜日コース（豊齢者・一般女性）	62(中止)	80(122)	中止(28)	142(150)
木曜日・夕方コース（豊齢者・一般女性）	29(中止)	40(51)	中止(13)	69(64)
金曜日コース（豊齢者・一般女性）	34(中止)	48(42)	中止(28)	82(70)
障がい児(者)親子 前半コース	118(中止)	78(146)	中止(40)	196(186)
障がい児(者)親子 後半コース	74(中止)	58(105)	中止(36)	132(141)
障がい者コース	32(中止)	52(96)	中止(23)	84(119)
障がい者ASリズムコース	30(中止)	26(40)	中止(20)	56(60)
障がい者ASコース	55(中止)	72(136)	中止(50)	127(186)
障がい児(者)家族コース	廃止(中止)	廃止(24)	廃止(6)	0(30)
合計	468(中止)	485(845)	0(273)	953(1,118)

※ASはアーティスティックスイミングの略

※令和3年度から障がい児(者)家族コースは木曜日コースに統合しました。

(2) 水中有酸素運動

ア アクアビクス

第一期を7月、第二期を11月に実施しました。

※指導者 早坂聡子氏

(単位：人)

	第一期(7月)	第二期(11月)	合計
参加者数	53	11	64

※前年度は新型コロナウイルス感染症対策として実施しませんでした。

イ 水中ウォーキング教室

新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月は開催を中止し、6月からの実施となりましたが、夏期の利用が混雑する8月は開催を控えました。

※指導者 藤田ますみ氏

(単位：人)

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	0	24	22	0	0	29	15	22	0	13	125(64)

(3) 水泳普及指導日(ワンポイントアドバイス)の設定

新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月は開催を中止し6月からの実施となりましたが、夏期の利用が混雑する8月は開催を控えました。

※指導者 藤田ますみ氏、西基栄氏、大嶋泰子氏

(単位：人)

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	0	4	4	2	4	3	0	0	0	2	19(20)
人数	0	0	27	34	15	26	30	0	0	0	10	142(198)

(4) レクリエーション

※新型コロナウイルス感染防止のため中止

(5) プール無料開放(センターまつり代替事業)

回	日 程	人 数
1回目	8月1日(日)	146
2回目	8月8日(日)	134
合 計		280

(6) 施設の提供

団体利用状況

(単位：人)

団 体 名	回 数	人 数
ぼっぼハウス	1	17
YMCAみらい	1	16

ワーキングギルド花梨	3	15
まーちゃんち	3	21
たけちゃんち	9	64
幸ちゃん家	16	183
すまいる作業所	3	28
ぞうさんの家	4	123
ひだまり介護じゃんぷ	3	33
MOTTO	7	57
MOTTOスイムスクール	25	113
仙台チャレンジスイミングクラブ	7	53
湯歩	80	266
ロバの耳	18	102
合 計	180	1,091

※団体専用コースで利用していただきました

(7) 苦情・要望の受付

プール利用者の方々からの苦情・要望については、できる限りすみやかに対処し、改善に努めました。

- ・ 苦情件数 : 0 件
- ・ 要望件数 : 6 件 (前年度 5 件)

(8月) 混雑時は、障がい者専用コースをなくして広く使用してはどうか? 混雑時の対応はどうなっているか? (口頭にて)

(対応) 想定される危険を回避するため障がい者専用コースは無くすることができないこと、混雑時にはコースロープを外し広いスペースで泳いでもらうこと、更衣室の密集については監視員が誘導をおこなうことをご説明し、納得していただきました。

(8月) プールでの浮き輪の使用は危険ではないか? やめたほうがよいのではないか? (口頭にて)

(対応) 浮き輪の使用は、障がいのある方、泳ぎが不得手で溺れる危険がある幼児・児童生徒に限定して使用を許可していること、今後は監視の重点項目として浮き輪の適正な大きさでの使用、危険行為への注意の徹底をおこなうことをご説明し、納得していただきました。

(8月) 駐車場の安全管理について (電話にて)

プールを利用した際、駐車場で暴走気味の運転をする方がおり不安を感じた。仙台東警察署にも連絡をとって相談してみてもどうか?

(対応) 後日、仙台東警察署と協議し、安全運転全般に関する啓発ポスターを掲示しました。今後も安全運転に向けた啓発活動について、仙台東警察署と連携をとっていくことをお伝えしました。

(10月) 親指の爪が剥がれやすくなっているため、靴下タイプのアクアシューズを履きたい。(口頭にて)

(対応) 靴下タイプのアクアシューズを履かないとプール利用に危険が伴うと判断し、許可しました。

(11月) サーフィンでも使用するウェットスーツを着用しプールに入れますか？(電話にて)

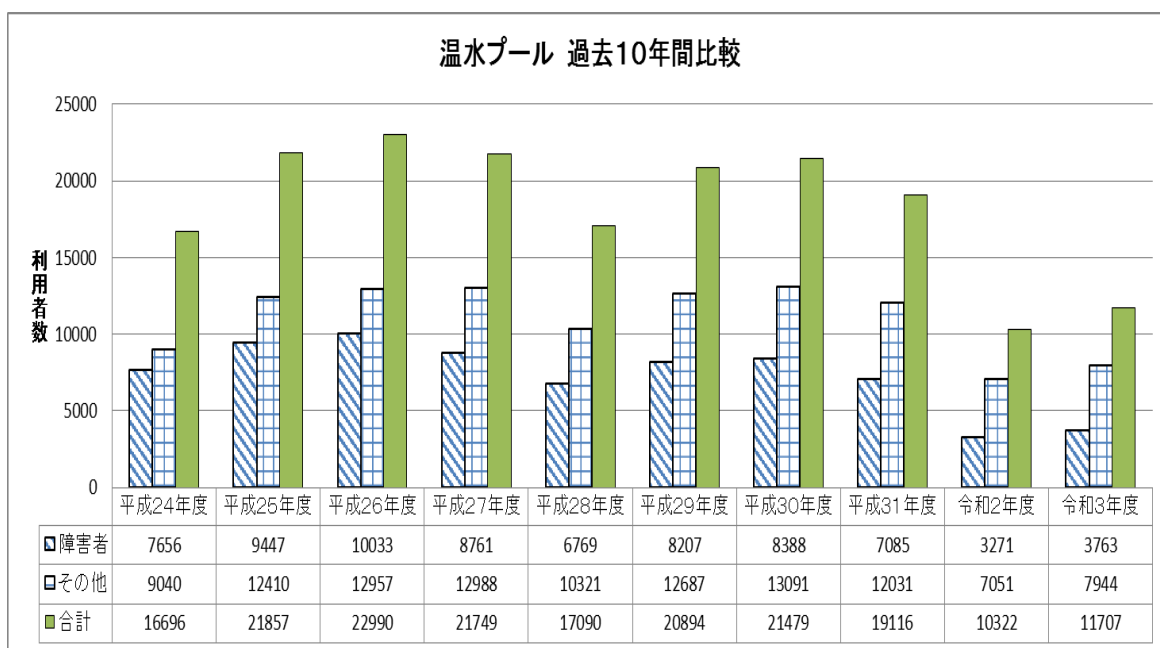
(対応) 当プールでは着用可能ですとお伝えしました。

(11月) 受付にある鉛筆を未使用と使用済に分け、使用済を消毒してほしい。(口頭にて)

(対応) 使用済の鉛筆を入れるケースを用意し、使用済の鉛筆は消毒しました。

(8) 利用実績

(単位：人)



- ※平成 28 年度 プール天井コンクリート落下のため 11 月 17 日から営業休止
- ※令和 2 年度 新型コロナウイルス感染防止対策で 4 月 11 日から 5 月 31 日まで営業中止
福島県沖地震(2 月 13 日発生)の影響で 2 月 14 日から 3 月 31 日まで営業休止
- ※令和 3 年度 まん延防止等重点措置のため 4 月 1 日から 5 月 11 日まで営業休止
緊急事態宣言のため 8 月 27 日から 9 月 17 日まで営業休止

2 環境配慮の取組み

(1) エコ活動への取組み

- ア 再生用紙の購入、使用に努めました。
- イ 電気、燃料（重油・灯油）等のエネルギー資源や水道水の節減に努めました。
 - ・空調機器等の運転基準を定め省エネ運転の徹底に努めました。
 - ・利用者不使用时における照明等について、消灯の徹底に努めました。

(2) 日常業務の見直し

- ア 用紙類の使用経費の抑制を図りました。
 - ・資料や印刷物の必要部数だけの印刷を励行しました。
 - ・ミスコピー紙等の再利用及び両面コピーの励行に努めました。

3 地域公益活動

- (1) ホームページ公開（更新回数、月4回更新）計48回
- (2) 「無料開放の日」の開催（年2回）
- (3) 障がい団体、近隣小学校、地域の方々にむけた利用促進を図るチラシの配布

4 職員の資質向上

(1) 所内研修

- ア 自主訓練（非常時を想定した着衣水中移動訓練）

(2) 外部研修

（単位：人）

月 日	内 容	人 数
12月 11日(土)	コロナ禍における重度障害者の運動等を通じた健康づくり	1
12月 15日(水)	中堅職員研修	1
2月 1日(火)	クレーム対応研修	1

5 安全管理と防災対策

(1) 感染症対策

- ア 感染症対策として、プール棟内の人が触れる場所に除菌溶液を使用し、日に4回の拭き取りによる消毒をおこないました。
- イ 受付時の体調確認および検温等を実施しました。

(2) 避難訓練

機械室からの火災発生を想定し、体育センターと合同で避難訓練を実施しました。

（単位：人）

回	日 時	人 数
1回目	12月 17日(金)	5
2回目	3月 24日(木)	4

6 施設の保全 修理・工事

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃から、職員による点検をおこなうとともに、安全に配慮し、保守点検や修繕を実施しました。

1	更新	各種保守点検
2	修繕	機械室貯湯槽エアー抜き配管漏水修理
3	修繕	ろ過機塩ビフランジ漏水修理
4	修繕	プールロボット電源BOX修理について
5	修繕	宮城県障害者体育センター女子更衣室 給湯管漏水修理
6	修繕	機械室サプライチャンバー点検口補修工事
7	修繕	温水プール劣化度調査
8	修繕	コンクリート梁、スラブ補修工事
9	修繕	ガラスフィルム貼り工事
10	修繕	更衣室水栓部品交換工事
11	修繕	有圧換気扇取替工事
12	修繕	プール操作盤の処置について
13	修繕	機械室補給水管漏水修理

(D) 宮城県障害者総合体育センター（指定管理施設）

体育センターは昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大抑制のため、宮城県の指示より、4月1日から5月11日まで及び8月27日から9月12日まで施設の利用が休止となりました。また、8月20日から8月26日及び9月13日から9月30日まで閉館時間を繰り上げる開館時間の短縮をおこないました。

スポーツ教室や地方巡回指導等の事業では中止や延期などもありましたが、参加者の安全を第一に考え、感染防止対策を徹底した上で実施しました。また、東京2020パラリンピックの開催にあたり、当体育センターを練習の本拠地としている選手等の方々に向けた応援活動や大会結果速報等の掲示等をおこないました。

宮城県による施設整備工事もおこなわれ、福島県沖地震（令和3年2月発生）による水道管破損の修繕や受変電設備更新工事が完了しました。また障がいのある人がより使用しやすい施設になるように、新たに玄関口やトイレ前への館内音声案内の導入や視覚障がい者用歩行誘導マットを設置しました。今後も利用者の方がより使いやすい施設になるように館内設備の整備に力を入れてまいります。

1 障がい者スポーツ活動普及促進事業

(1) スポーツ教室開催事業

心身のリラックスと適度な運動メニューを組み入れた各種目の教室等を提供し健康的で充実した余暇の過ごし方を考えるきっかけづくりを図りました。

* () 内の数字は前年度実績

事業名	開催状況	参加述べ人数	講師
eスポーツ教室 (福祉センターと共催)	7月～11月 (3回)	60	講師：仙台市eスポーツ協会
グラウンドゴルフ教室	6月 (2回)	10 (8)	講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員
スラローム教室	県・市陸上競技大会中止のため開催せず		
ノルディック ウォーキング教室	6月 (2回)	13 (22)	講師：寺澤 洋 指導員 石田 隼亮 指導員
障がい者スポーツ体験教室	8, 10, 12, 3月 (4回)	38	講師：宮城県障害者スポーツ 指導者協議会 第二塩化リゾチーム 宮城 MAX 宮城県障害者卓球協会
フライングディスク教室	県・市フライングディスク大会中止のため開催せず		
ミニテニス教室	5月～12月 (7回) *月1回 *8, 1, 2月中止	49 (60)	講師：遠藤 貴紀 指導員

(2) 健康教室開催事業

初心者やスポーツ活動に不安を抱えている方々に健康管理や適正な運動について指導・助言等をおこない、障がい者スポーツの底辺拡大を図りました。

* () 内の数字は前年度実績

事業名	開催状況	参加述べ人数	内容／講師
ヨガ教室	5月～11月 (10回) *月2回	126 (102)	椅子ヨガ・ストレッチ 講師：(株)ヨーガライフシステム コンサルタント 林 るみ子 氏 中野 直子 氏 渡邊 麗子 氏

(3) 巡回指導教室開催事業

県内の各市町村、支援学校、小中学校及び施設等を訪問し、日常生活の中で簡単に取り組める「楽しい障がい者スポーツ」を紹介することによって、地域の中で障がい者スポーツへの理解と協力を得るとともに、関係機関等との連携を通して地域内での定着を目指しました。

ア ボッチャ

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
7月18日(日)	コネクトフォーリングス	8	会場：丸森町和田コミュニティセンター 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員
8月6日(金)	登米市社会福祉協議会豊里支所	8	会場：体育センター 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員
8月19日(木)	登米市社会福祉協議会	16	会場：登米市農村環境改善センター 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
9月17日(金)	あしたのタネまき	9	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
10月6日(水)	登米市立西郷小学校	13	会場：西郷小学校体育館 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員
10月23日(土)	宮城県肢体不自由児父母の会	17	会場：体育センター 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員

11月11日(木)	登米市立豊里小中学校	60	会場：豊里小中学校体育館 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
11月18日(木)	登米市立北方小学校	34	会場：北方小学校体育館 講師：寺澤 洋 指導員 石田 隼亮 指導員
11月18日(木)	あしたのタネまき	6	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員
11月22日(月)	仙台市立岡田小学校	28	会場：岡田小学校体育館 講師：寺澤 洋 指導員 石田 隼亮 指導員
12月18日(土)	泉区子ども会育成会	30	会場：根白石市民センター 講師：遠藤 貴紀 指導員
1月21日(金)	登米市立東郷小学校	30	会場：東郷小学校体育館 講師：石田 隼亮 指導員

イ ミニテニス

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
5月21日(金)	あしたのタネまき	14	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員
11月18日(木)	あしたのタネまき	7	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員

ウ 風船バレー

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
7月18日(日)	コネクトフォーリングス	8	会場：丸森町和田コミュニティセンター 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員
8月20日(金)	あしたのタネまき	11	会場：体育センター 講師：寺澤 洋 指導員 遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員

エ 車いすバスケットボール

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
10月28日(木)	仙台市立岡田小学校	62	会場：岡田小学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 石田 隼亮 指導員

11月12日(金)	仙台市立桜丘小学校	66	会場：桜丘小学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 石田 隼亮 指導員
11月15日(月)	仙台市立鶴が丘小学校	48	会場：鶴が丘小学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 寺澤 洋 指導員
12月2日(木)	仙台市立八軒中学校	90	会場：八軒中学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 石田 隼亮 指導員
12月3日(金)	仙台市立幸町南小学校	58	会場：幸町南小学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員
12月6日(月)	仙台市立新田小学校	120	会場：新田小学校体育館 講師：萩野 真世氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 石田 隼亮 指導員
12月15日(水)	仙台市立桜丘中学校	99	会場：桜丘中学校体育館 講師：佐藤 裕希氏 (MAX) 岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員

オ ブラインドサッカー

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
10月6日(水)	登米市立西郷小学校	13	会場：西郷小学校体育館 講師：佐藤 暢 氏 (コルジャ仙台)

カ 卓球

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
12月17日(金)	あしたのタネまき	13	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員

(4) 広報啓発事業

- ・ホームページでは予約状況の公開や障がい者スポーツ情報を提供しました。
- ・事業広報・利用促進チラシ配布
- ・ホームページの更新・管理

更新回数 12回

(5) スポーツ普及活動事業

ア 障がい者スポーツ普及活動

スポーツ活動団体等の要請に応じて当体育センター職員を派遣し、東京2020パラリンピック及び各種スポーツ大会や練習等への指導・支援等をおこないました。

期日	事業名	依頼機関
4月12日～19日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
5月1日～10日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
6月2日～5日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
6月23日～28日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
7月12日～18日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
7月30日～8月5日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
8月8日	第21回全国障害者スポーツ 大会ボッチャ競技練習会	宮城県障害者社会参加推進センター
8月11日～8月23日	車いすバスケットボール 日本代表NTC合宿	日本車いすバスケットボール連盟
8月24日～9月9日	東京2020パラリンピック競技 大会	日本車いすバスケットボール連盟

イ 東京2020パラリンピック応援活動（センターまつり代替事業）

当センターを拠点に活躍され、東京2020パラリンピックにも出場される選手を応援するために、イベント開催やロビーでのテレビ観戦、横断幕などを作成・掲示することで、パラリンピックを盛り上げるための活動をおこないました。

(ア) 東京2020パラリンピック壮行会

日 時	参加人数
7月29日(木)13:30～14:15	25

(イ) 東京2020パラリンピック報告会

日 時	参加人数
10月1日(金)13:40～14:45	15

ウ スキルアップ研修会（対面研修・オンライン研修）

障がい者スポーツに取り組む競技者及び利用者のレベルの向上、各種スポーツに活かせる基礎知識や基礎技術の習得の機会を図りました。

- ・日 時：令和4年3月27日（日）13：30～15：00
- ・会 場：宮城県障害者福祉センター

内 容	参加人数
「スポーツ外傷の予防と応急処置」 講師：宮城県障害者社会参加推進センター 荒井 陽介 氏	6

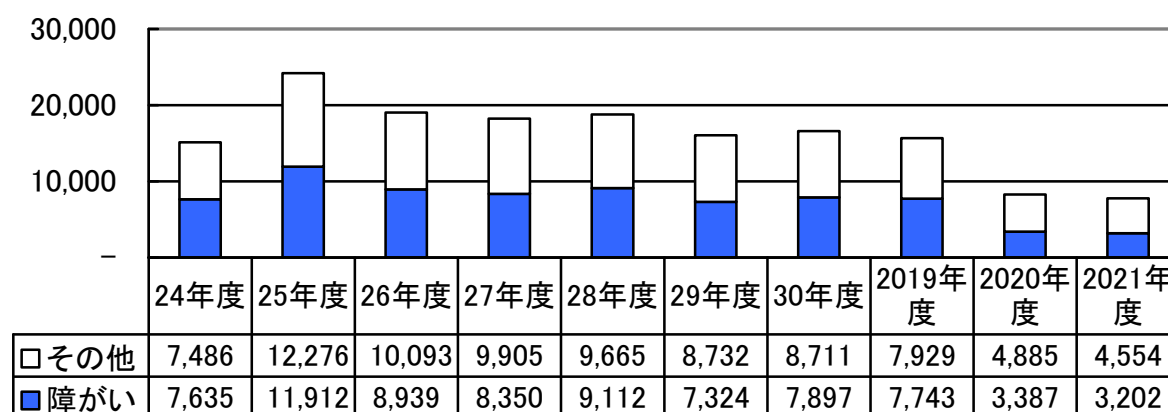
（6）施設の貸し館業務

障がい者スポーツ活動を目的とする個人や団体に対し、体育館やグラウンドを優先的に貸し出しました。また、それ以外を目的とする個人や地域の団体に対しても貸し出しをおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、各施設の利用人数を制限しての貸出となりました。なお、感染拡大防止のため発出された緊急事態宣言等の影響で休館になった日数は58日間（昨年度は54日間）でした。

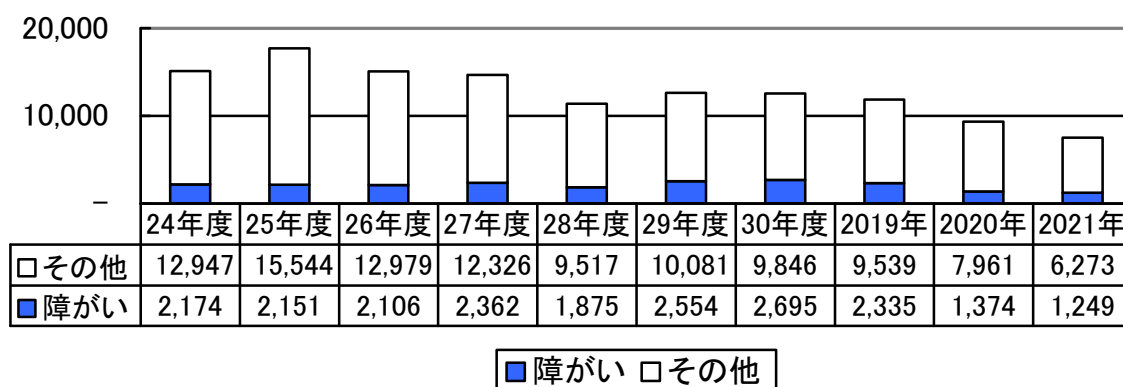
貸し館	障がいのある方・人数	その他の方・人数	合計
体育館	3,202(3,387)	4,554(4,885)	7,756(8,272)
グラウンド	1,249(1,374)	6,273(7,961)	7,522(9,335)

件数	障がいのある方・件数	その他の方・件数	合計
体育館	599(576)	278(316)	877(892)
グラウンド	69(78)	157(165)	226(243)

体育館 過去10年比較



グラウンド 過去10年比較



2 サービスの向上推進事業

(1) 利用者サービスの向上に向けた取組み

ア 運営協議会の開催

当センターの運営を円滑かつ効果的並びにサービスの向上を図るために、障がい者団体や関係団体から選出された委員で、施設運営や施設利用に関すること、主催事業に関すること、その他体育センターの管理上必要な事項、運営方針等について協議しました。今年度1回目の運営協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での報告になりました。

	日時	参加人数
1	新型コロナウイルス感染症の為に書面で報告	
2	1月8日(日)13時30分～14時30分	9

イ 利用調整会議の開催

施設利用の公平性を期し、障がい者及び一般利用者の利用調整会議を開催し、円滑かつ効果的な運営を図りました。障がい者スポーツ活動団体の利用を優先しその後、障がい者スポーツ活動以外の団体利用に提供しました。

(ア) 障がい者スポーツ活動団体

	日時	参加団体
1	6月5日(土)10:00～12:00	20
2	10月5日(土)10:00～12:00	18
3	1月8日(土)10:00～12:00	19

(イ) その他の目的団体

	日時	参加団体
1	6月28日(月)10:00～12:00	10
2	10月25日(月)10:00～12:00	14
3	1月31日(月)10:00～12:00	8

ウ 苦情解決委員会の設置

当センターの利用に関係したトラブルの未然防止と軽減に努めるとともに、寄せられた苦情については苦情解決委員会に従って解決を図っています。

苦情解決の申し出件数 0件

エ 虐待防止委員会の設置

障害者虐待防止法の施行にともない、障がい者の虐待等についての迅速な対応及びその防止についての啓発に努めるため設置しています。

(2) 利用者の要望の把握と反映の方法

ア 意見箱の設置

当センター内に「意見箱」を設置し、利用者のニーズの把握を図り、施設運営や事業の企画に反映しました。

(3月) 裏口の通路に段差があり危ないので、改善して欲しい。

(対応) 本来通路ではない箇所であったため、カラーコーンを設置し通行禁止にしました。

受付件数 1件

イ 利用者からの要望、ご意見(上記以外の方法で受付：窓口・運営協議会での要望)

(5月) グラウンド管理棟の女子トイレが流れにくい。

(対応) 職員による水圧を上げる作業をおこない、「流す際にレバーを長押ししてください」というお願いのはり紙を作成し、掲示しました。

(7月) グラウンドの開錠時間を早めてほしい。

(対応) 管理責任・事故防止の観点及び他団体との公平性の観点から施設の利用時間内での利用をお願いしました。

(1月) 音声案内やトイレ等に点字をつけてほしい。

(対応) 音声案内を設置、正面玄関に誘導マットを設置しました。

受付件数 3件

(3) 利用者の増加策

ア 魅力のある事業等でスポーツ活動を実施できるよう、環境の充実に努めました。

イ 体育センターの事業、貸館利用法を紹介するチラシを作成し、地域の学校、施設、団体へ配布しました。

ウ ホームページに予約状況を掲載し、利用者が施設の空き状況を把握しやすい環境をつくり、より効率的に施設を利用していただけるように努めました。

3 自主事業

(1) 施設利用者各種大会（アーチェリー大会）

当センターの利用団体を中心に、県内のアーチェリー愛好家同士が広く交流し、日頃の練習の成果を発揮できる大会の開催を支援しました。

- ・支援団体：杜の都アーチェリークラブ
- ・開催日時：令和4年3月26日（土）9時から12時
- ・会場：宮城県障害者総合体育センター
- ・参加人数：9人

(2) 救命救急法講習会

利用者の病気・けが等は、突発的に起こることが多く、日頃から職員の意識付けが必要であることから、当センターを含め各障がい者団体や施設の職員を対象に、宮城野消防署鶴谷出張所の指導のもと救命救急訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

今後の利用者へのケガ等への対応として、衛生用品、応急処置用備品の整備をおこないません。

4 環境配慮の取組み

宮城県の「わが社のe行動（eco do!）宣言に基づき、「環境配慮実践事業者」として登録し、積極的に環境に配慮した取り組みをおこなっています。

（登録日 令和3年5月14日）

(1) 取組項目

ア 物品等の調達にあたっての配慮

エコマークやリサイクル等の環境ラベルのある商品・物品を使用しました。

イ 省エネルギー対策

不要な照明のスイッチをこまめに消すなど、照明の適正な管理をおこないません。

ウ 自動車燃料使用量の削減

無駄なアイドリングをなくし、エコドライブに努めました。

エ 省資源対策

使用済み用紙の裏面活用や印刷時の用紙の節約等に努めました。

また、水洗トイレ用擬似音発生器を設置しており節水に努めました。

オ 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

紙、金属片、ガラス瓶、プラスチック、電池等の分別の徹底に努めました。

5 障害者就労施設等からの物品等の優先調達

宮城県内の障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るため、具体的目標を設定し、その行動実践に努めました。

障害者就労施設等から提供可能な物品の情報については、年間を通し情報の収集に努め、その情報を参考に物品などの調達を推進しました。

	調達物品・役務	調達の対象となる障がい者就労施設等	金額（円）
1	体育センター使用券(印刷)	就労継続支援事業所(B型)	33,000
2	広報誌(印刷)	就労継続支援事業所(B型)	138,600
3	PRチラシ(印刷)	就労継続支援事業所(B型)	45,100
4	ホームページ保守	就労継続支援事業所(B型)	26,400
5	会議茶菓子	就労継続支援事業所(B型)	3,000
		合計	246,100

6 地域公益活動

利用促進のためにパンフレットの配布、広報誌「スロープ」によるスポーツ教室や地域巡回指導の紹介等、情報提供をおこないました。

7 職員の資質向上

各種事業の企画・運営にあたり、より質の高いサービス（指導）内容で業務に取り組むことが必要と考え積極的に外部研修に参加しました。

8 安全管理と防災対策

施設利用される方々が、安全に安心して利用できるよう日常点検、施設設備点検、職員の防災意識向上、及び利用者への施設利用前後の準備運動の徹底と事故防止を図りました。

特に東日本大震災での教訓を生かし、近隣施設との連携強化、情報提供等に努めています。

(1) 消防設備点検の実施

	日時
1	7月 2日(金) 9:00～11:00
2	1月 6日(金) 9:00～11:00

(2) 避難訓練の実施

	日時
1	12月17日(木) 13:00～13:30
2	3月24日(木) 14:00～14:30

(3) 施設内外の日常点検の実施（随時）

(4) 災害用非常食、救急用品の備蓄（随時）

(5) 防災対策、交通安全の研修会（随時）

9 施設・設備の保全

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃からの職員による点検を実施するとともに、施設の安全に配慮し、保守点検や修繕をおこないました。

1	修繕	外灯LED工事（北側駐車場）
2	修繕	女子更衣室給湯管漏水工事（温水プールと共用の給湯管）
3	修繕	機械室サプライチェンバー点検口補修工事（温水プールと共用）
4	修繕	福島県沖地震で破損した水道管の除去および新設工事（宮城県）
5	更新	受変電設備更新工事（宮城県施設整備事業、令和2年度に引き続き）
6	修繕	機械室貯湯槽エアークレキ配管漏水修理（温水プールと共用）
7	修繕	機械室補給水管漏水修理（温水プールと共用）
8	修繕	防排煙設備の修繕
9	修繕	トレーニング室ロールカーテン取付工事
10	修繕	トイレ温水洗浄便座交換工事
11	修繕	アコーデオンカーテン交換工事
12	新設	視覚障がい者用歩行誘導マット設置

L 肢体不自由児協会事業

開始2年目を迎えた本年の事業では、宮城県全域の各自治体、警察署並びに小・中学校、特別支援学校等に依頼して、「障がいのある子どもに愛の手を」普及運動を展開するとともに、教育機関には、さらに「手足の不自由な子どもを育てる運動」のポスター掲示等による運動啓発をお願いしました。

「障がいのある子どもに愛の手を」においては、県民28,730人の方々から事業協賛金（募金）によるご支援を賜りました。

社会参加促進事業の「きぼっこキャンプ」並びにセルフヘルプグループ支援システム推進事業では、新型コロナウイルス感染の拡大により中止を余儀なくされた行事が多々ありました。一方で、規模の縮小あるいはプログラムの変更等、工夫を凝らすことにより開催に努めました。

セルフヘルプグループ支援システム推進事業においては、障がい児者親の会との連携・協働を意図した「障がい児親の会ご紹介」（情報紙）の発行と配布が、次年度以降につながる大きな成果となりました。

「パソコンボランティア養成業務（宮城県地域生活支援事業）」にあたっては、パソコンボランティア養成講座を開講して障害者のICT活用を支援する人材の育成に取り組みました。

また、地域との連携を図り、亘理町障害者等地域自立支援協議会の会議をはじめとして、山元町、宮城県教育庁、介護福祉士養成校等の会議に参画しました。

1 普及運動の実施

ノーマライゼーションの理念に基づき、肢体不自由児等の障がいがある子どもとその家族の視座に立ち、地域共生社会の実現を目指す運動に努めました。

令和3年度は、宮城県手をつなぐ育成会をはじめとする親の会との連携を図り、障がい児親の会に関する情報紙を作成して、自治体、教育機関等に配布することで、親の会活動の啓発に努めました。

(1) 「障がいのある子どもに愛の手を」普及運動

障がいのある子どもに対する理解促進を図り、普及啓発運動を通じて、障がい児（者）の自立援助のための事業の協賛（事業資金）を募りました。

ア 運動の趣旨 障がい児親の会の活動支援と協働について、関係団体・機関等との連携を図りながら、親の会等セルフヘルプグループを支援するシステム構築を目指す。

イ 普及運動地域 宮城県一円

ウ 事業資金募集の概要

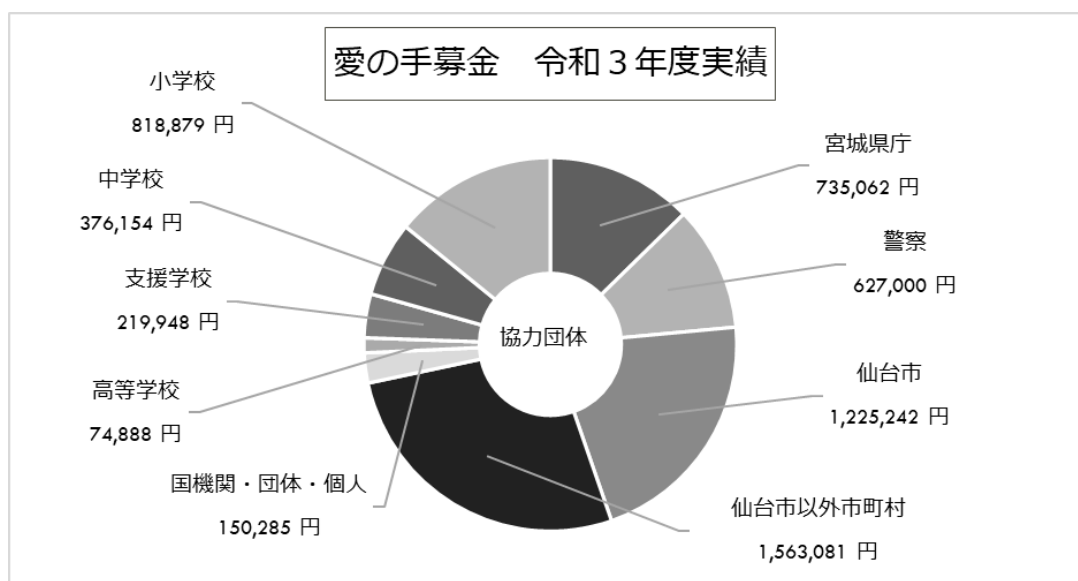
(ア) 協賛金額 1口200円
運動趣旨及び事業内容を掲載したリーフレットを作成し、協賛金を募りました。

(イ) 募集期間 令和3年9月1日から令和4年1月31日まで

(ウ) 募集対象 宮城県内官公所(署)、団体、(公・私立)小・中・高等・特別支援学校など

令和3年度愛の手募金実績

依頼先		ご協力口数	募金額(円)
県 庁	本 庁	1,462	282,307
	地方公所	2,298	452,755
	計	3,760	735,062
市 町 村	仙台市	6,131	1,225,242
	他市町村	7,712	1,563,081
	計	13,843	2,788,323
宮城県警察	県警本部	1,406	281,200
	警察署	1,729	345,800
	計	3,135	627,000
他機関・団体等	国機関	189	37,780
	団 体	323	64,505
	自衛隊	0	0
	個人等	16	48,000
	計	528	150,285
学 校	小学校	4,096	818,879
	中学校	1,885	376,154
	高等学校	384	74,888
	支援学校	1,099	219,948
	計	7,464	1,489,869
愛の手募金合計		28,730	5,790,539



上記団体の職員等有志よりご協力いただきました実績です。

(2) 第69回「手足の不自由な子どもを育てる運動」

社会福祉法人日本肢体不自由児協会、各都道府県の肢体不自由児協会が主催して、全国一斉に展開した第69回「手足の不自由な子どもを育てる運動」を宮城県内の関係諸団体に対して周知を図り、合わせて本運動を推進しました。

ア 後援

(全国)

内閣府	厚生労働省
文部科学省	日本郵便株式会社
都道府県	日本障害者協議会
全国社会福祉協議会	全国肢体不自由児者父母の会連合会
全国肢体不自由児施設運営協議会	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国都道府県教育長協議会	全国連合小学校長会
全日本中学校長会	全国高等学校長協会
日本私立中学高等学校連合会	日本PTA全国協議会
日本放送協会	日本チャリティプレート協会
日本医師会	全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

(宮城)

宮城県	仙台市
宮城県教育委員会	仙台市教育委員会
宮城県社会福祉協議会	宮城県肢体不自由児者父母の会連合会
宮城県小学校長会	仙台市小学校長会
宮城県中学校長会	仙台市中学校長会
宮城県市町村教育委員会協議会	

イ 運動期間 令和3年11月10日から12月10日まで

(ア) 手足の不自由な子どもを育てる運動のポスターを県内小学校、中学校、特別支援学校に掲示を依頼し、啓発活動をおこないました。

(イ) 肢体不自由児・者への認識と関心を深め、あわせて障がい児・者の自立援助のため、希望する児童生徒と教職員に「友情と愛の絵はがき」「クリアファイル」「2WAYフォルダー」を頒布しました。

2 社会参加促進事業の実施

(1) きぼっこキャンプWEB交流会の検討会（8月12日、13日 計3家庭参加）
訪問による意見交換（8月18日 1家庭）

(2) 「きぼっこキャンプ」の開催（「きぼっこキャンプ実行委員会」との共催事業）
お楽しみ会（たこ焼き会）

日 時 令和3年12月5日（日）12：30～15：30

会 場 宮城県障害者福祉センター 食堂

参加者 5名（肢体不自由児者3名、ボランティア学生2名）

3 セルフヘルプグループ支援システム推進事業

(1) 重症心身障がい児親の会「ベリーの会」への協力。会議等出席。

- ・総会 4月15日 (亶理町社会福祉協議会会議室 8名参加)
- ・定例会 4月27日、6月16日 (亶理町中央公民館 7名参加)
- ・成人を祝う会 6月19日 (亶理町中央公民館 約50名参加)

(2) ①(まるわ)プロジェクト(県南地域重症児者を支援するボランティアの会)との協働

(3) 「障がい児親の会紹介」(宮城県内障がい児親の会等の紹介紙)

発行 1,500冊

肢体不自由児協会事業のホームページに掲載(毎年8月に更新計画)

団体情報提供の協力親の会等 41団体

- ア 宮城全域で活動する親の会(11団体)
 - 一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会
 - 宮城県重症心身障害児(者)を守る会
 - 宮城県自閉症協会、宮城県肢体不自由児父母の会連合会等
- イ 主に仙台市内で活動する団体(6団体)
- ウ 県内市町村、岩手県南地域等で活動する団体(20団体)
- エ 全国で活動を展開している団体(2団体)
- オ 宮城県及び仙台市から委託を受けている支援団体(2団体)
 - 小慢さぼーとせんたー、宮城県患者・家族団体連絡協議会

4 地域生活支援事業

(1) パソコンボランティア養成業務(受託事業)

障がい者の福祉に理解と熱意を有し、情報通信技術に一定の知識・技能を有する者に対して、障がい者のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術等の習得を目標とする、下記パソコンボランティア養成講座(以下、養成講座)を開催して、パソコンボランティアを養成することにより、障がい者の社会参加促進を図りました。

ア 養成講座内容

- (ア) 障害者福祉の基礎知識
- (イ) 障がい者の情報入手と活用(サピエの利活用等に関する内容を含む)
- (ウ) 障がい者向けパソコン関連機器の理解
- (エ) パソコンボランティア活動の実際
- (オ) 支援技術に関する演習
- (カ) その他パソコンボランティア活動に必要な知識、技術等

イ 養成講座の実施概要

会場 宮城県障害者福祉センター(仙台市宮城野区幸町4-6-2)

	期 日	講 師 (敬称略)	受講者
基 礎 課 程	2月26日	宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター 堀米 香菜 楽暮プロジェクト 竹島 久志	2名
中上級 課 程	2月27日 3月5日 3月6日	2月27日(日) 仙台市視覚障害者福祉協会 鳴原 真一 みやぎ障害者ITサポートセンター 鳴原 直文 3月5日(土) 相談支援事業所 ぱるけあであらんで 高橋 壮 東北福祉大学 情報福祉研究室 高橋 俊史 宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司 3月6日(日) メイ・ソリューション株式会社 木島 真央 宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司	3名

ウ 事業実施に伴う成果

コロナ禍の影響により、当初計画していた開催時期（8～10月）を延長して開催（2～3月）した結果、定員5名に対して全課程を通じての受講修了生1名（特別支援学校教員）、1～2講座受講者3名（パソコンボランティア1名、大学生2名、内1名肢体不自由生）でした。

5 地域との連携・地域公益事業

(1) 関連機関委員委嘱等による会議出席の概要

ア 亘理町障害者等地域自立支援協議会

全体会 2回（書面審議）

議案 ・副会長選任（第1回）

・亘理町障がい者プランについて（第1回）

・全体会及び各部会の活動の報告と計画（第1・2回）

・県南エリアコミュニティ地域支援拠点県南ありのまま舎進捗状況（第1・2回）

・その他

子ども部会 2回

第1回 活動報告、亘理町障がい者プラン、亘理町児童発達支援事業所、他

第2回 亘理町防災施策、医療的ケア児への災害時支援

第3回（中止）

イ 山元町障害者等地域協議会 2回開催の内、1回参加

協議 令和3年度山元町障害者地域協議会の取組状況、障害福祉施策

ウ 宮城県教育庁生涯学習課 人権教育企画推進連絡会 計2回参加

協議 人権教育指導者研修会、人権セミナー、その他

宮城県教育庁生涯学習課 人権教育養成事業 少年団体関係者研修会（講師）
講演 「自己肯定感について」（宮城県庁）

エ 東北保健医療専門学校 教育課程編成委員会 計2回参加
協議 介護福祉士養成課程カリキュラム、学内実習の取り組み、その他

6 その他

(1) 相談支援

ア 令和2年度からの継続支援 進路（就労）等相談 2名

イ 新規相談

- ・肢体不自由児者 4家庭（進路相談、サービス立ち上げ、就労施設見学）
- ・肢体不自由者（施設利用者） 1名（パソコン学習支援）
- ・親の会 1団体（助成金の推薦について）
- ・大学生 2名（卒業論文、ボランティア活動）
- ・大学教員（実習先について）
- ・福祉施設及び団体、福祉関係者 6団体（情報提供、グループホーム開始、他）
- ・支援学校 2件（修学旅行時の移動について、職場体験実習について）
- ・企業（福祉車両の操作についての啓発研修について）

(2) 社団法人生命保険協会宮城県協会「福祉募金寄贈先」の推薦施設選定

- ・放課後等デイサービス「南桜」（大河原町） 7月15日訪問
- ・放課後等デイサービス「いっぽ」（東松島市） 7月21日訪問

事業報告書の付属明細書

令和3年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。